

# 静岡県の 新型コロナウイルス感染症者 発生・入院等の状況 (2022年7月11日時点)



静岡県健康福祉部 新型コロナ対策 企画課 & 推進課



# 静岡県 新型コロナウイルス感染者 入院・宿泊等 状況

(2020年11月1日～2022年7月7日)

■ 自宅待機者・療養者数  
■ 宿泊施設入所者数  
■ 全入院患者数  
— 病床占有率(左軸)

**第6波 最多値(その日付)**  
 入院 621人(2月25日)  
 宿泊 411人(1月21日)  
 自宅 13612人(2月10日)  
 全療養者14376人(2月10日)

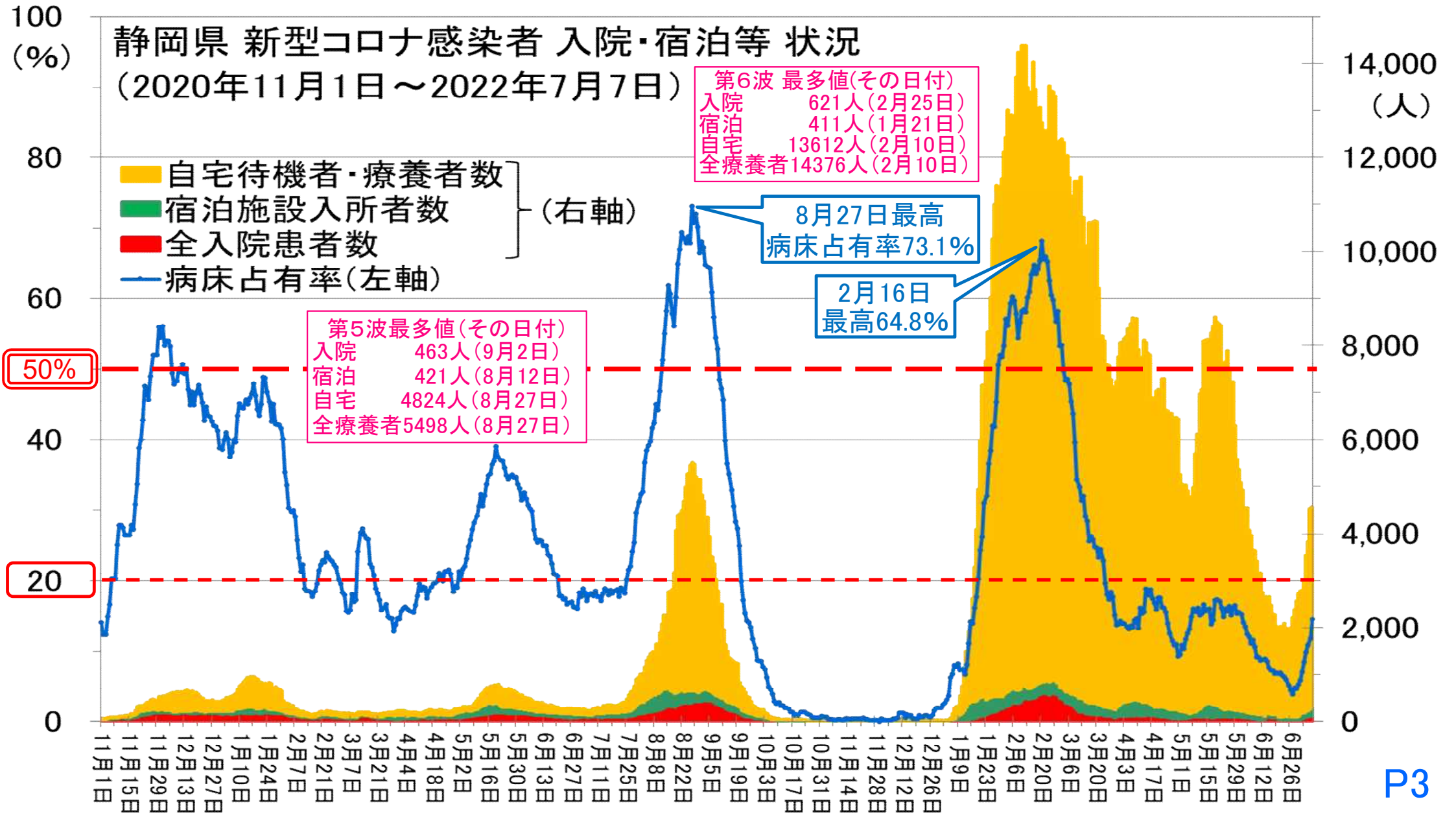
8月27日最高  
 病床占有率73.1%

2月16日  
 最高64.8%

**第5波 最多値(その日付)**  
 入院 463人(9月2日)  
 宿泊 421人(8月12日)  
 自宅 4824人(8月27日)  
 全療養者5498人(8月27日)

50%

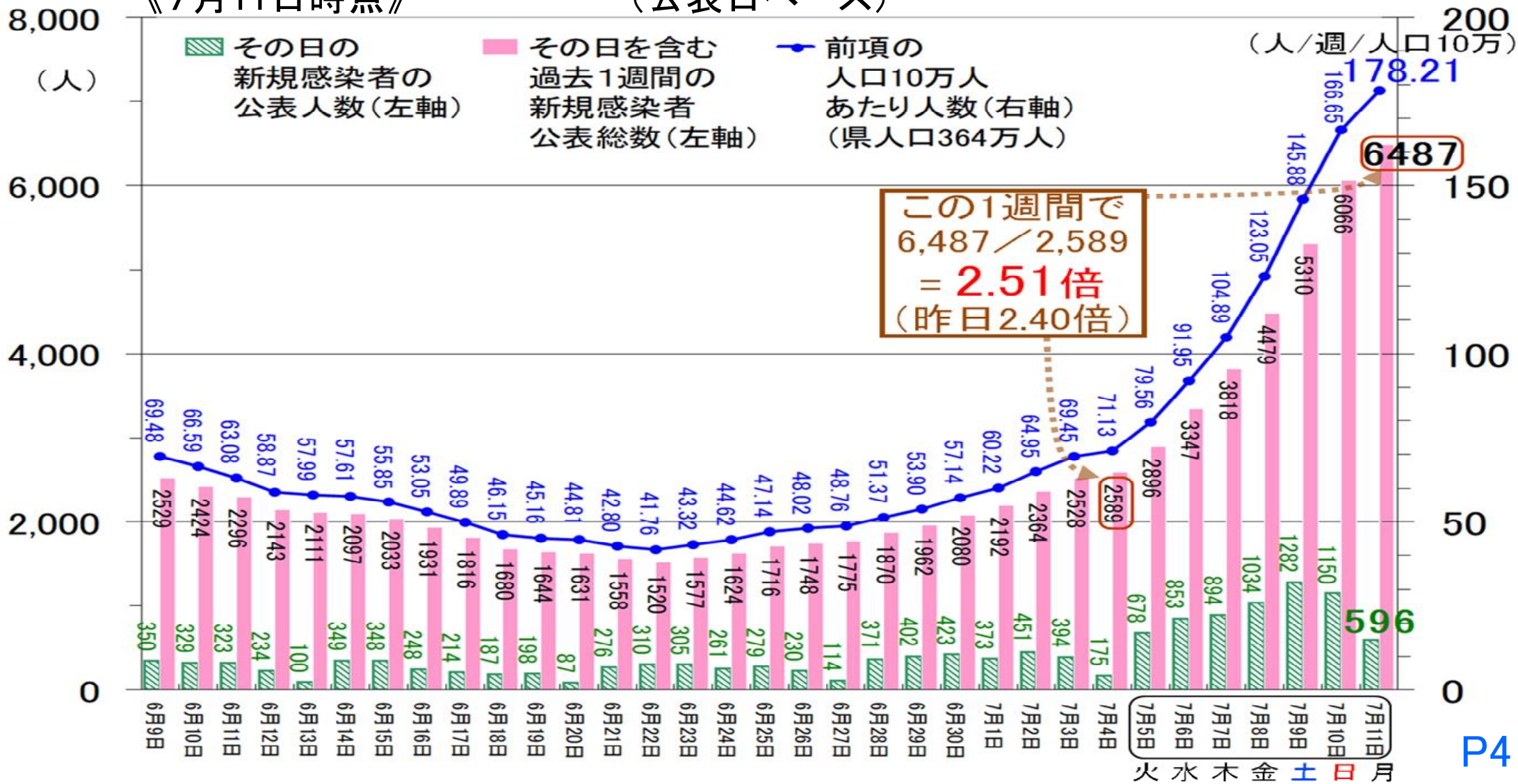
20%



# 静岡県の直近1か月の新型コロナ新規感染者数の状況

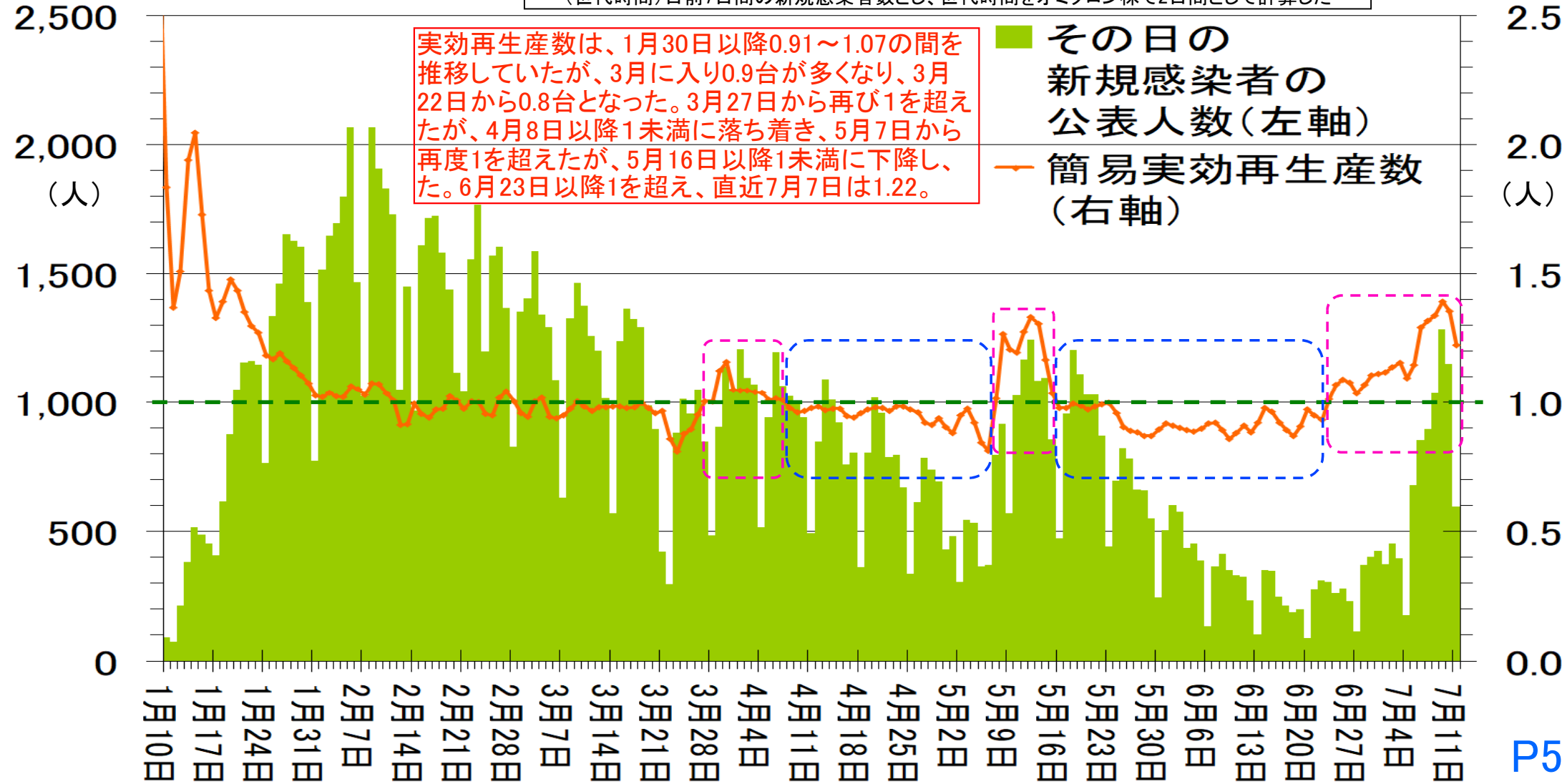
《7月11日時点》

(公表日ベース)

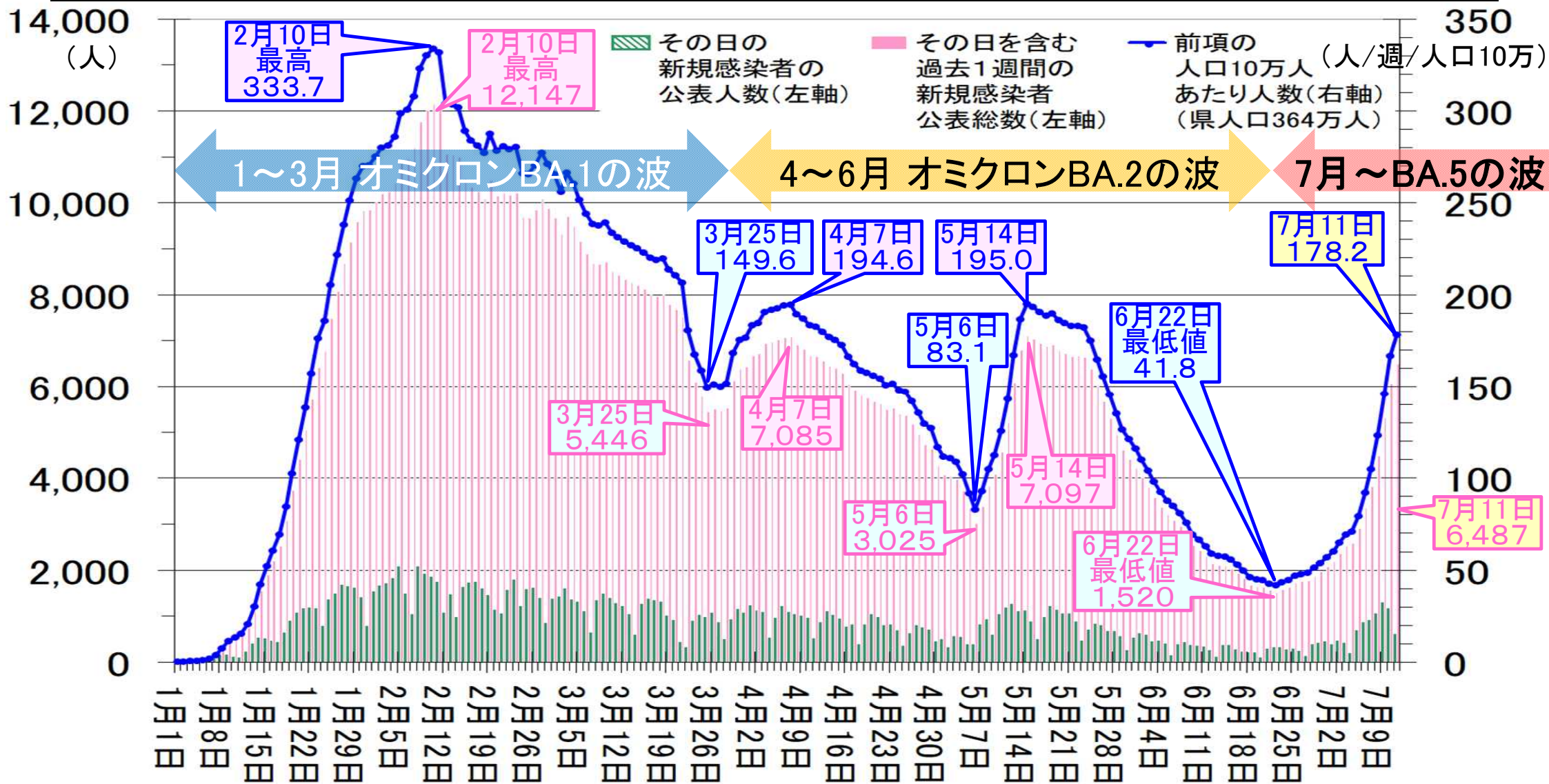


# 静岡県の新型コロナ新規感染者数と簡易実効再生産数(1/10~7/11)

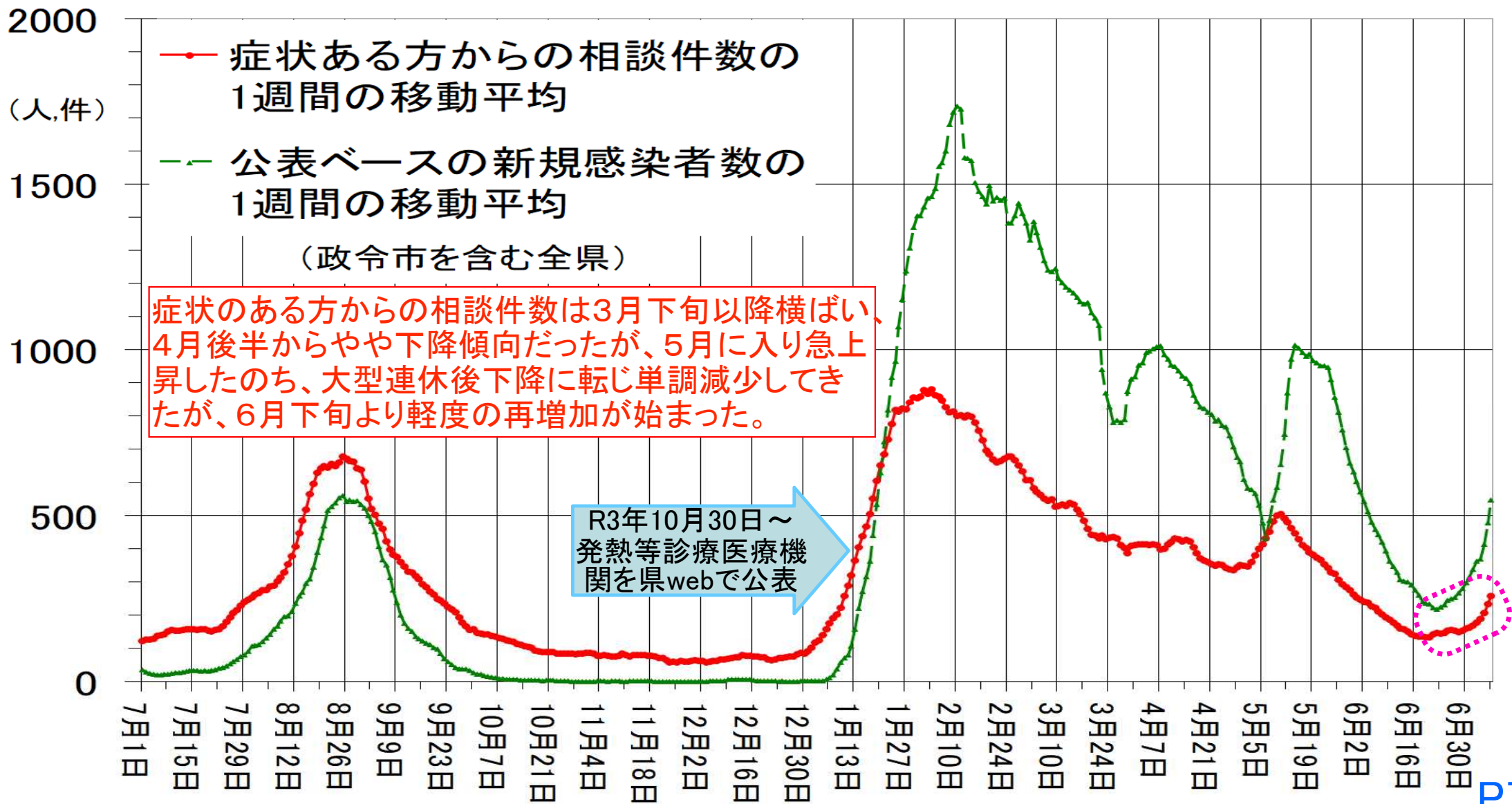
国立感染症研究所の報告に基づき、簡易実効再生産数を直近7日間の新規感染者数/  
(世代時間)日前7日間の新規感染者数とし、世代時間をオミクロン株で2日間として計算した



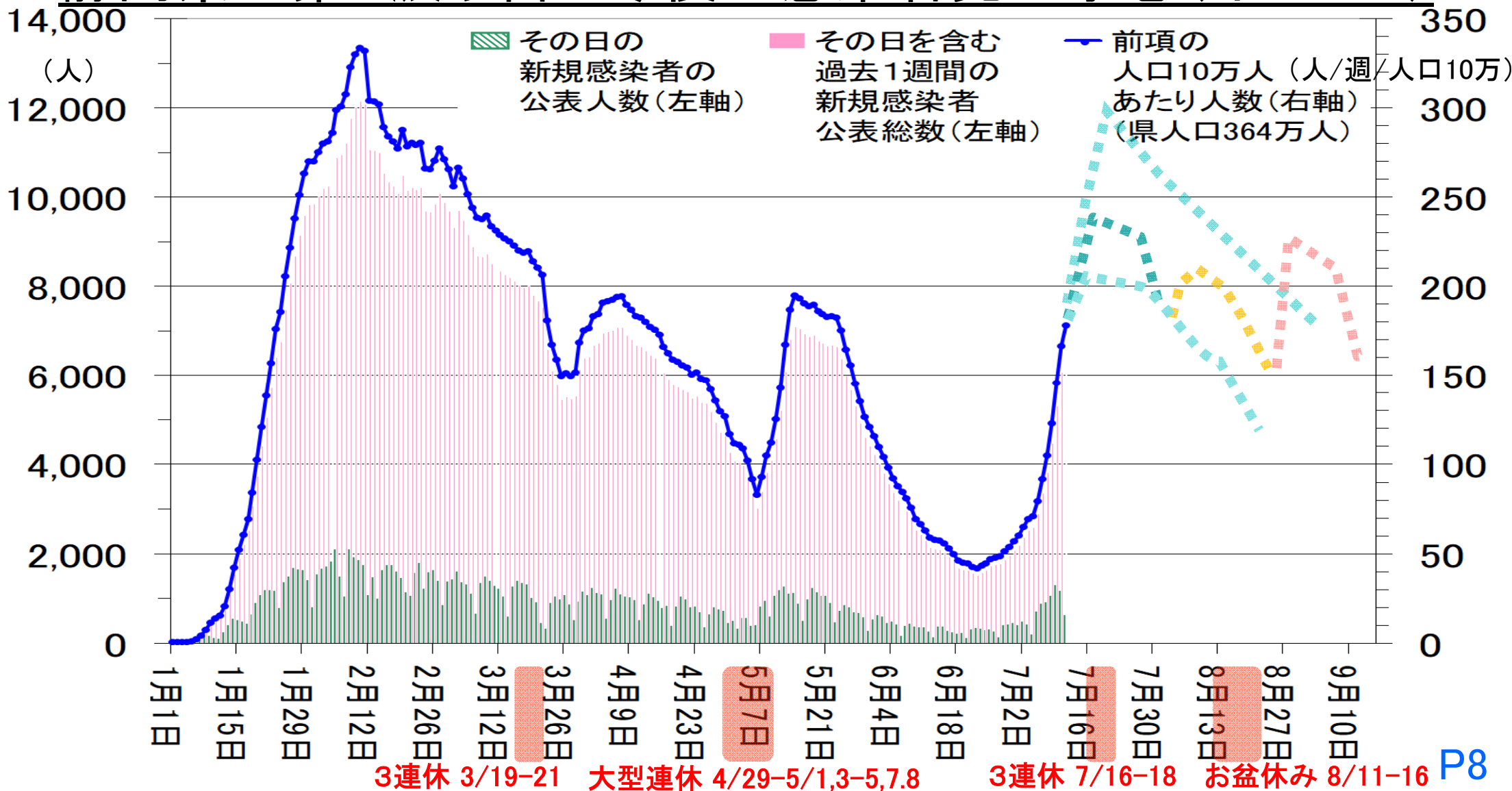
# 静岡県の第6波以降 これまでの全体像(1/1~7/11)



# 静岡県 発熱等受診相談センターの有症状者相談件数と感染者数(7/1~7/7)

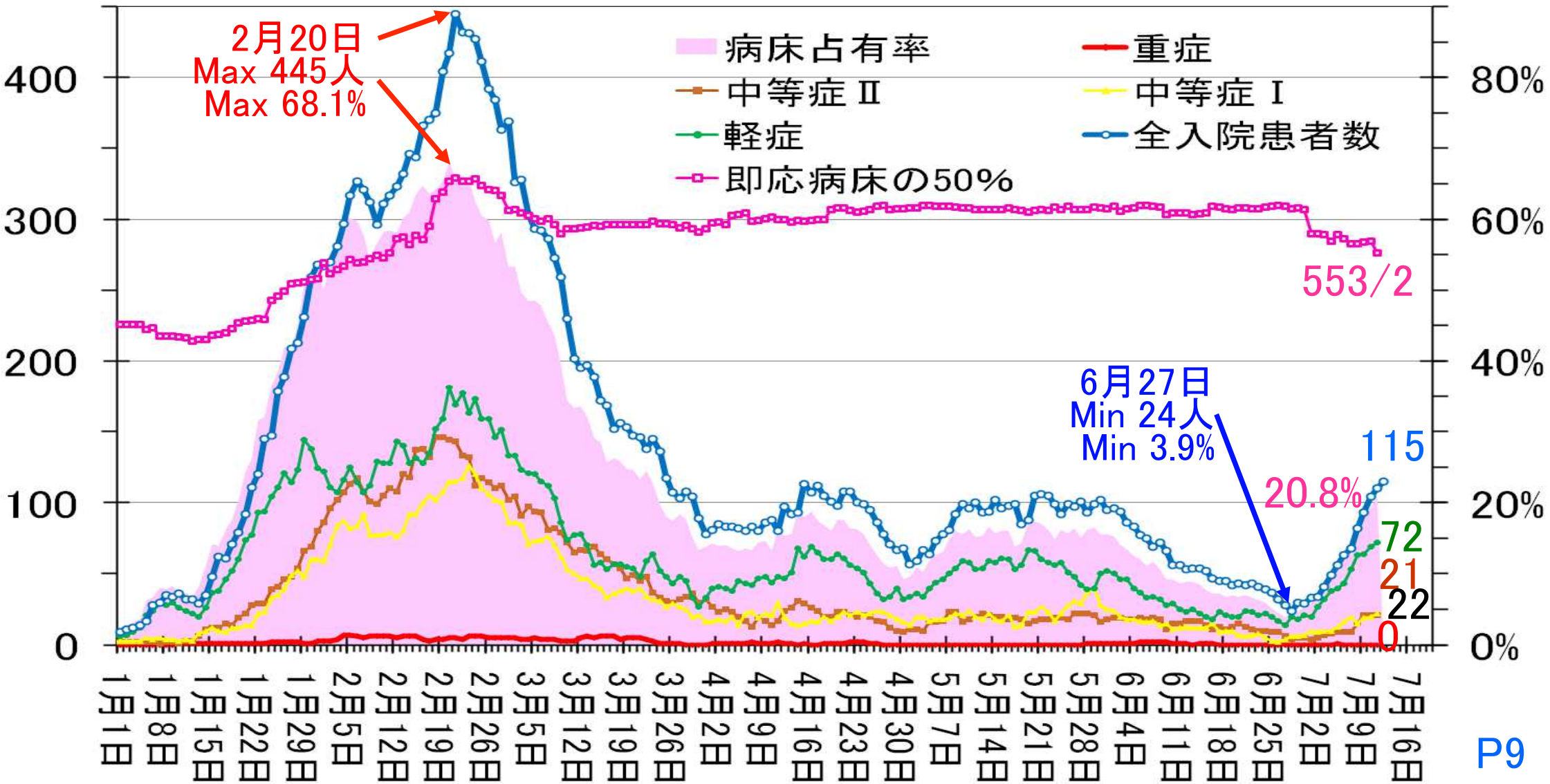


# 静岡県第6波以降と今後の感染者発生予想(イメージ)





# 静岡県 コロナ受入病院 入院患者重症度別推移(1/1~7/11)

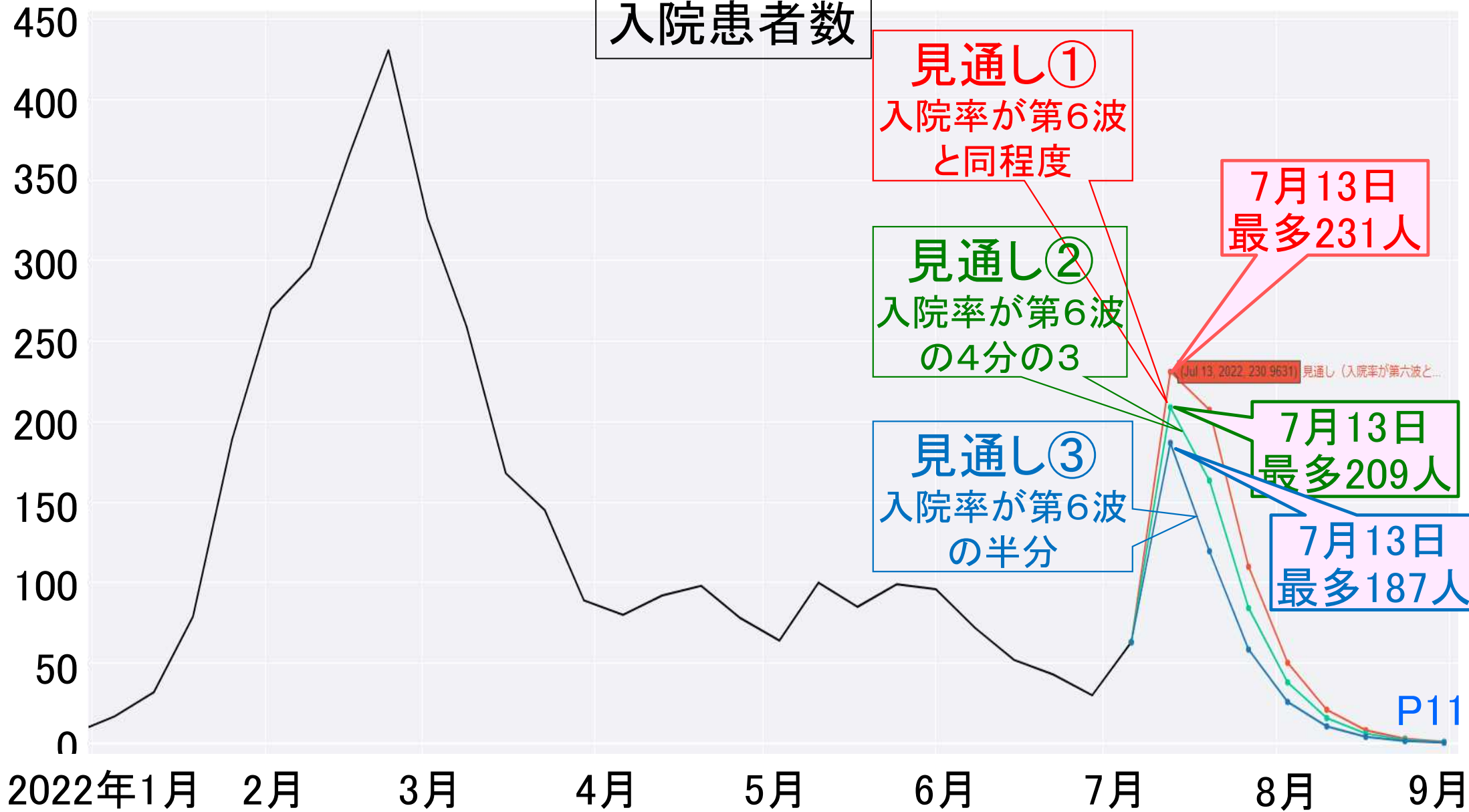


(参考) 東京大学 仲田泰祐氏らによる「入院患者数・重症患者数見通しツール」

(<https://covid19-icu-tool.herokuapp.com>)を用いた本県の推定図(7月10日時点)



# 入院患者数



**見通し①**  
入院率が第6波  
と同程度

**見通し②**  
入院率が第6波  
の4分の3

**見通し③**  
入院率が第6波  
の半分

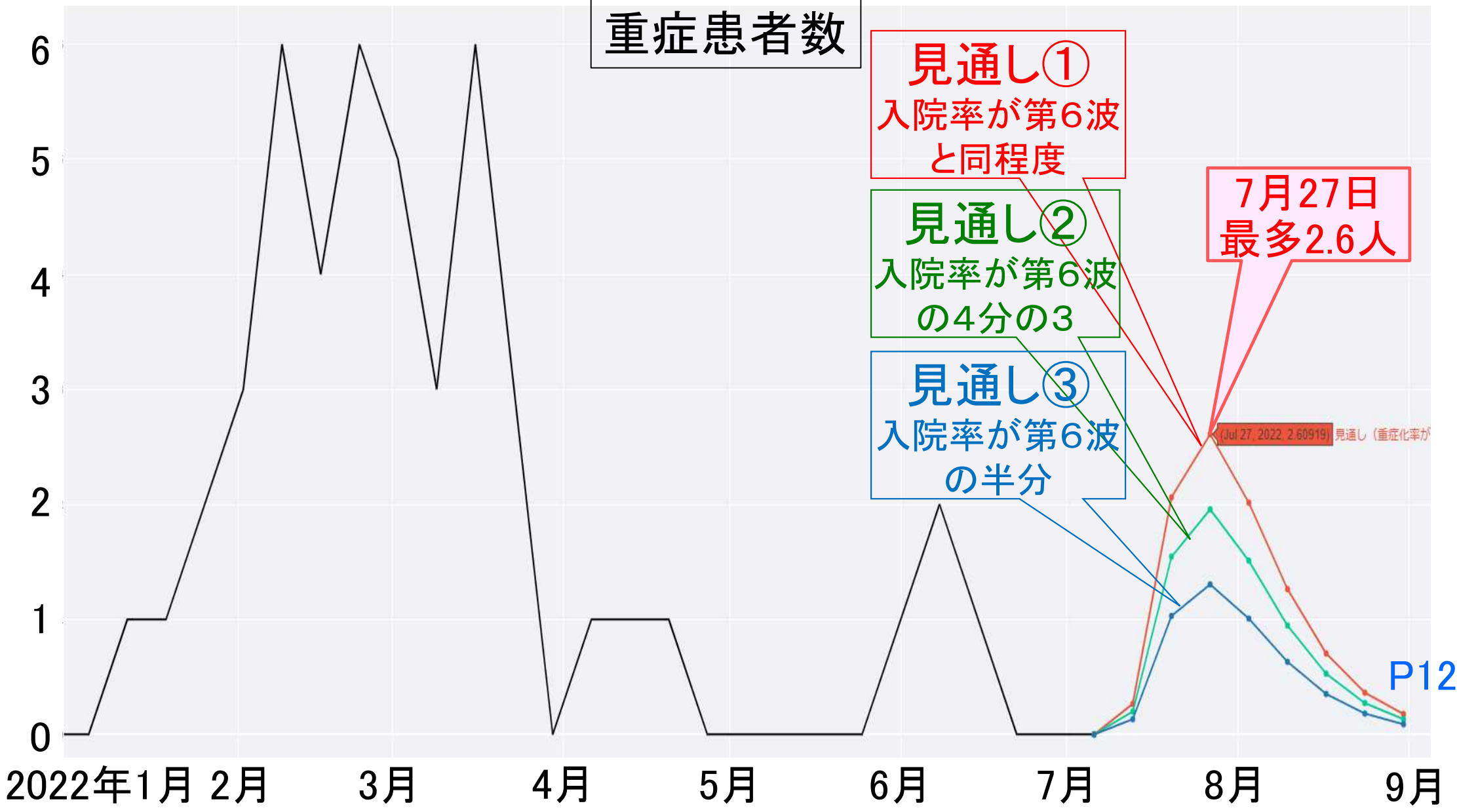
7月13日  
最多231人

7月13日  
最多209人

7月13日  
最多187人

P11

# 重症患者数



**見通し①**  
入院率が第6波と同程度

**見通し②**  
入院率が第6波の4分の3

**見通し③**  
入院率が第6波の半分

7月27日  
最多2.6人

[Jul 27, 2022, 2.60919] 見通し (重症化率が)

P12

## 静岡県 評価レベル分類 1⇒2 引上げ基準(オミクロン暫定案)

- ① 1週間の新規感染者数が、2週以上連続で増加
- ② 1週間の人口10万人あたりの新規感染者数が、100人以上
- ③ 入院患者数が、100人以上で増加傾向あり
- ④ 病床占有率が、20%以上で上昇傾向あり

①かつ②～④のいずれかを満たす

## 静岡県 評価レベル分類 1 ⇒ 2 引上げ基準(オミクロン暫定案)

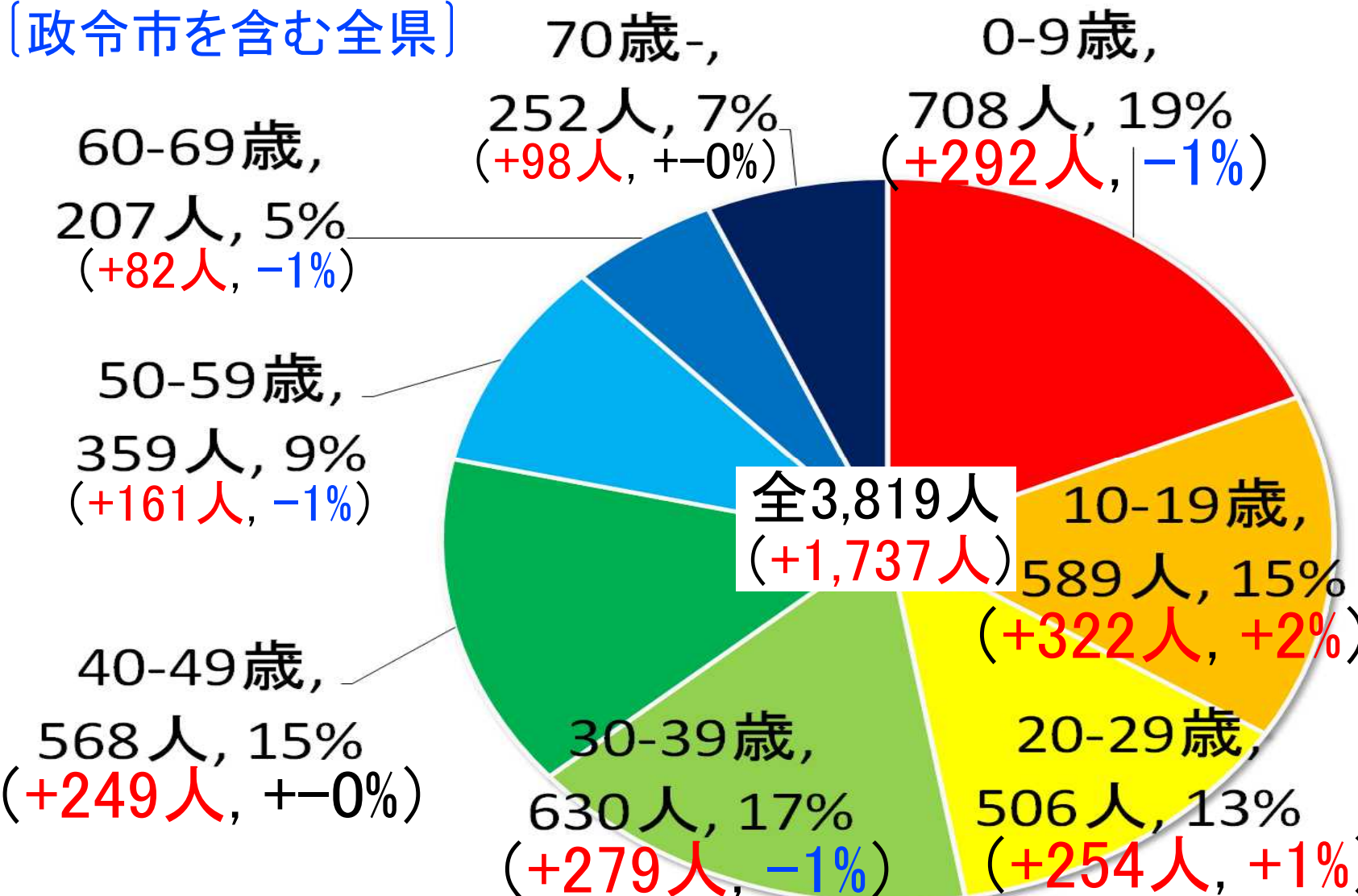
- ① 1週間の新規感染者数が、2週以上連続で増加 **・ 2週連続増加**
- ② 1週間の人口10万人あたりの新規感染者数が、100人以上 **(178.2人)** (7月11日時点)
- ③ 入院患者数が、100人以上で増加傾向あり **(115人)**
- ④ 病床占有率が、20%以上で上昇傾向あり **(20.8%)**

①かつ②～④のいずれかを満たす

※ 7月11日(月)時点では、①～④を全て満たした

# 静岡県直近の年齢別感染者数・割合(7/1~7)

[政令市を含む全県]

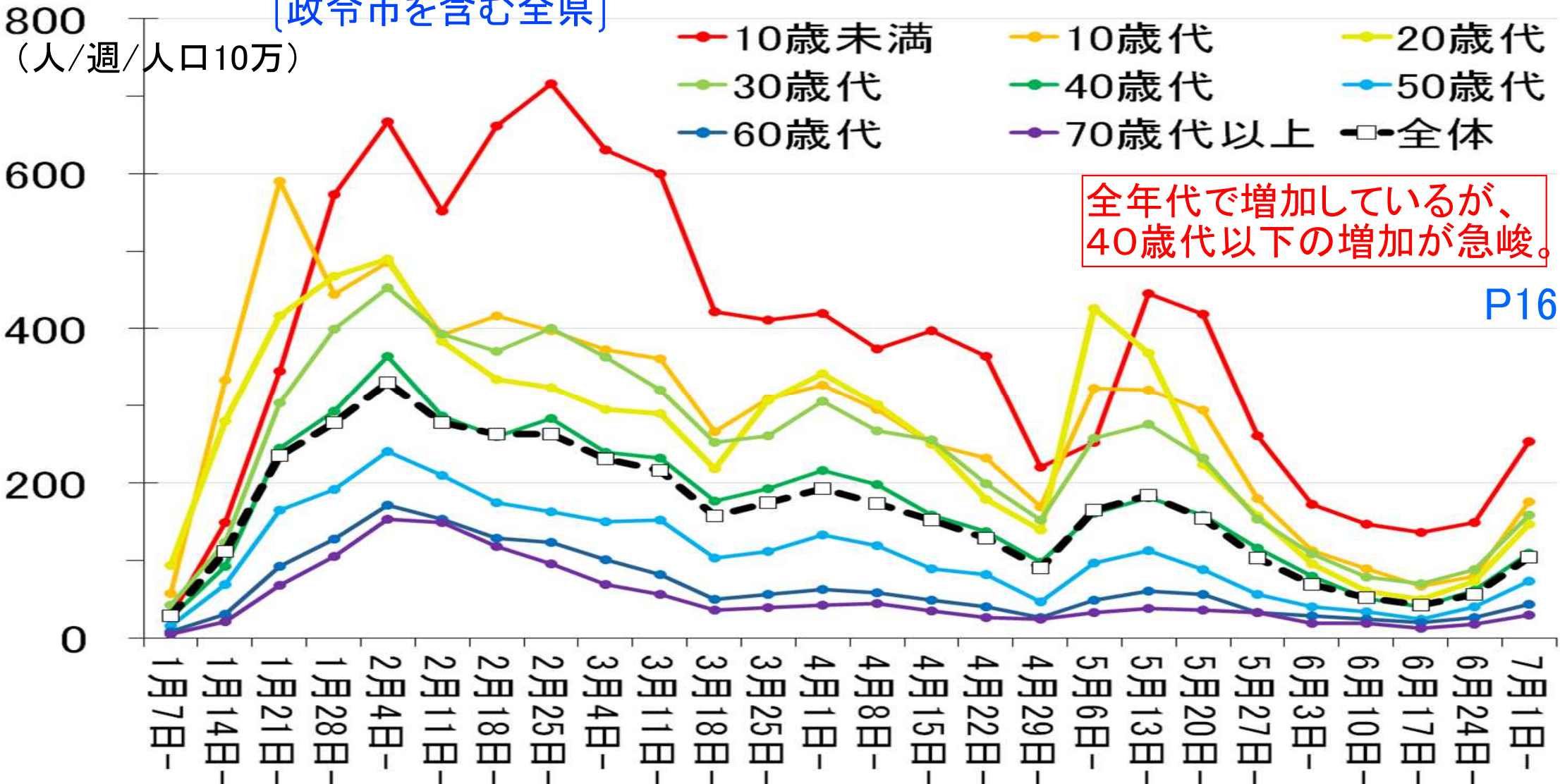


10歳未満が前週より1ポイント減少したが、19%で最多。  
10歳未満から40歳代が各年代200人以上増加。中でも10歳代が300人以上増加し最多。  
60歳代と70歳以上の増加は2ケタと少なめ。  
20歳代以下で全体の約50%、40歳代以下で約80%、60歳以上は12%。

(+-〇〇人, +-□%)  
は前週との増減P15

# 静岡県 年代別人口10万人あたり週感染者数(1/7~7/7)

[政令市を含む全県]



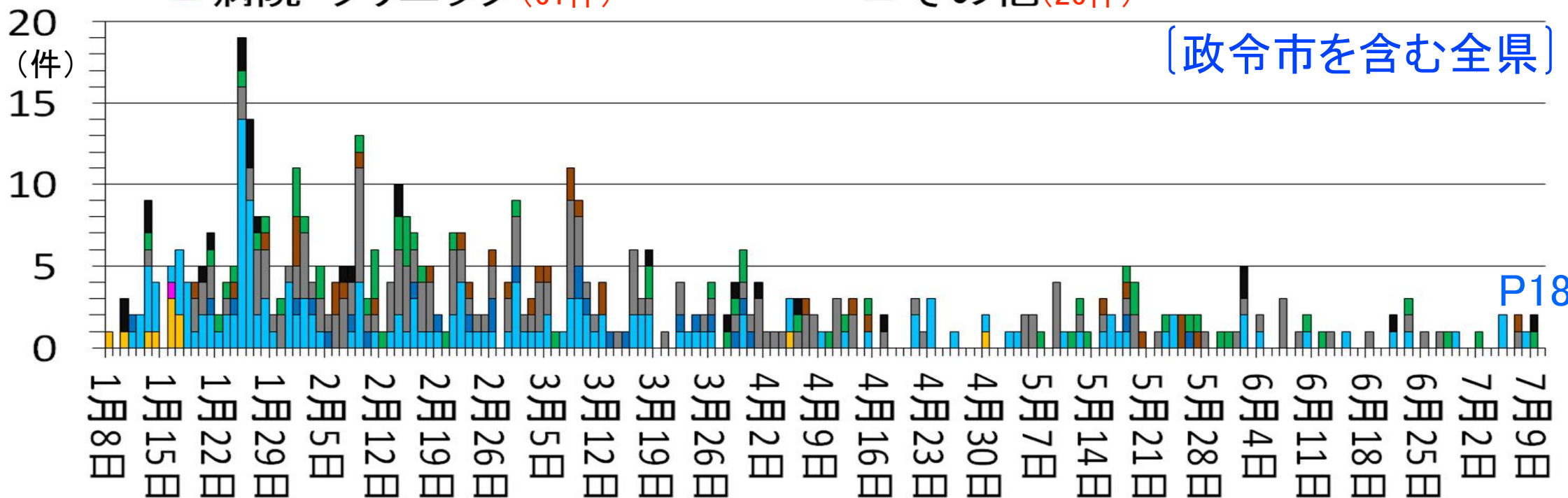




# 静岡県 感染者集団(クラスター)の種類と件数(1/8~7/10)

全490件中、学校・保育施設が166件(34%)で最多  
次いで、僅差で高齢者施設が164件(33%)で多く、次に病院・クリニックが61件(12%)

- 住宅等での知人との会食(11件)
- 接待を伴う飲食店(1件)
- 学校・保育施設(166件)
- 事業所・工場(27件)
- 高齢者施設(164件)
- 高齢者以外の福祉施設(34件)
- 病院・クリニック(61件)
- その他(26件)

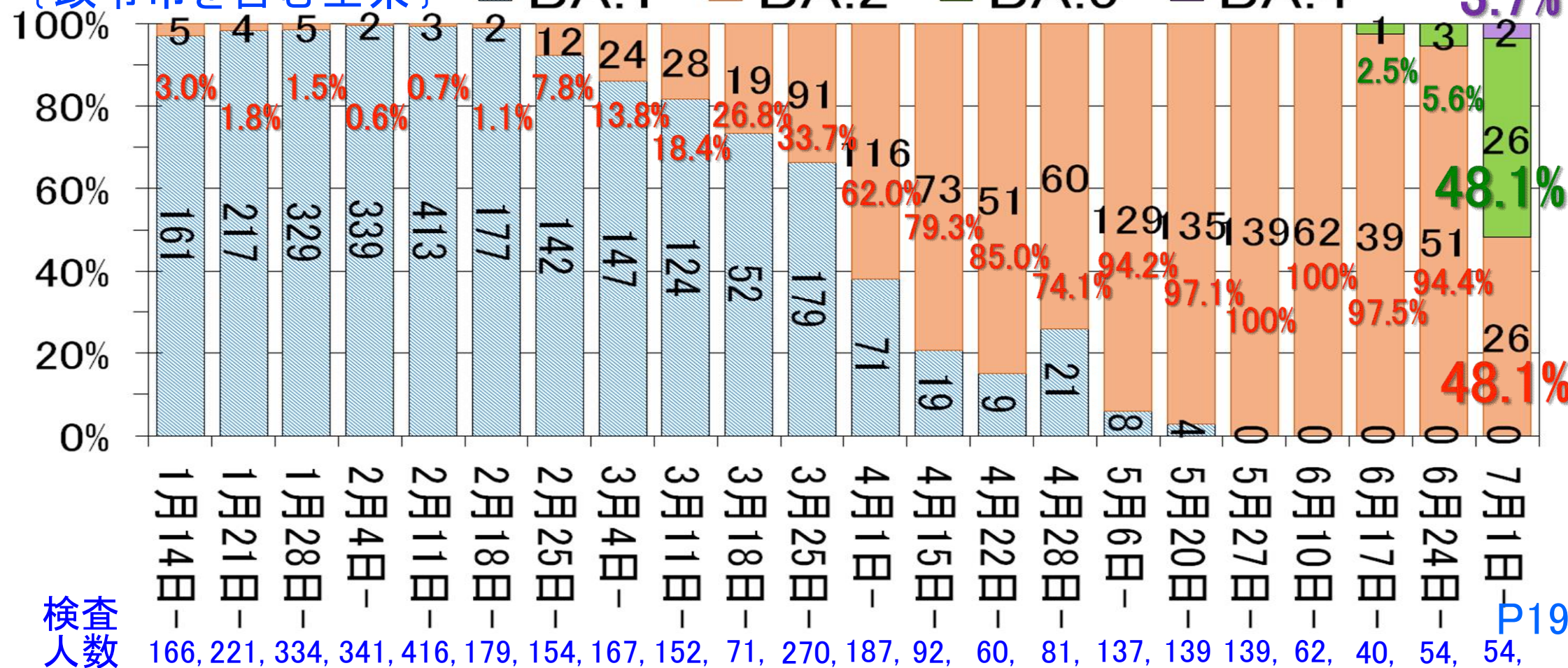


# オミクロン株BA.1とBA.2の割合の推移（1/14～7/6）

オミクロン株全体の中でBA.2が占める割合は、2月下旬より増加し始めて、5月上旬に90%台となり、5月末より100%となり、6月中旬よりBA.5が検出され直近で約半数。

〔政令市を含む全県〕

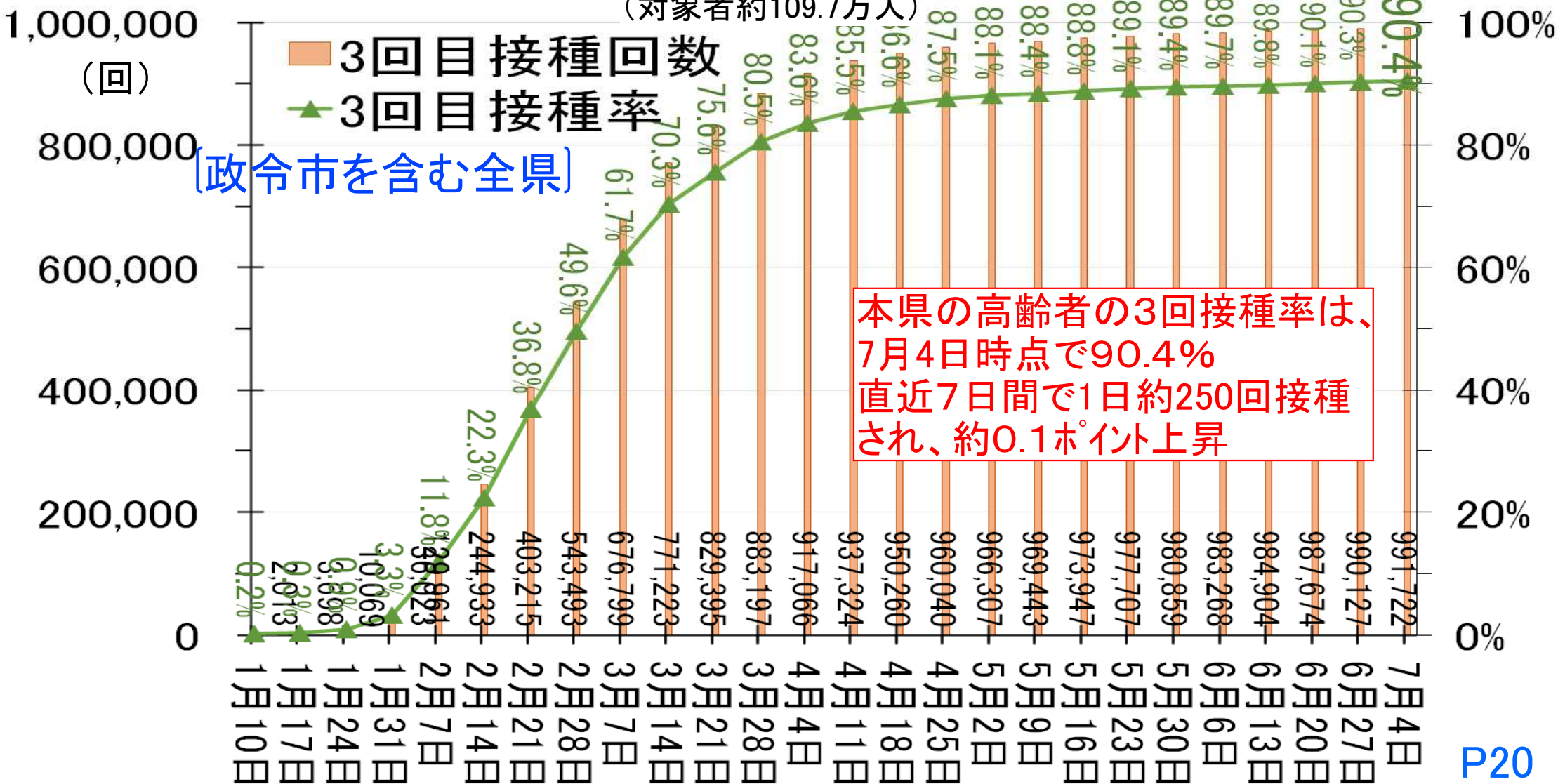
■ BA.1 ■ BA.2 ■ BA.5 ■ BA.4



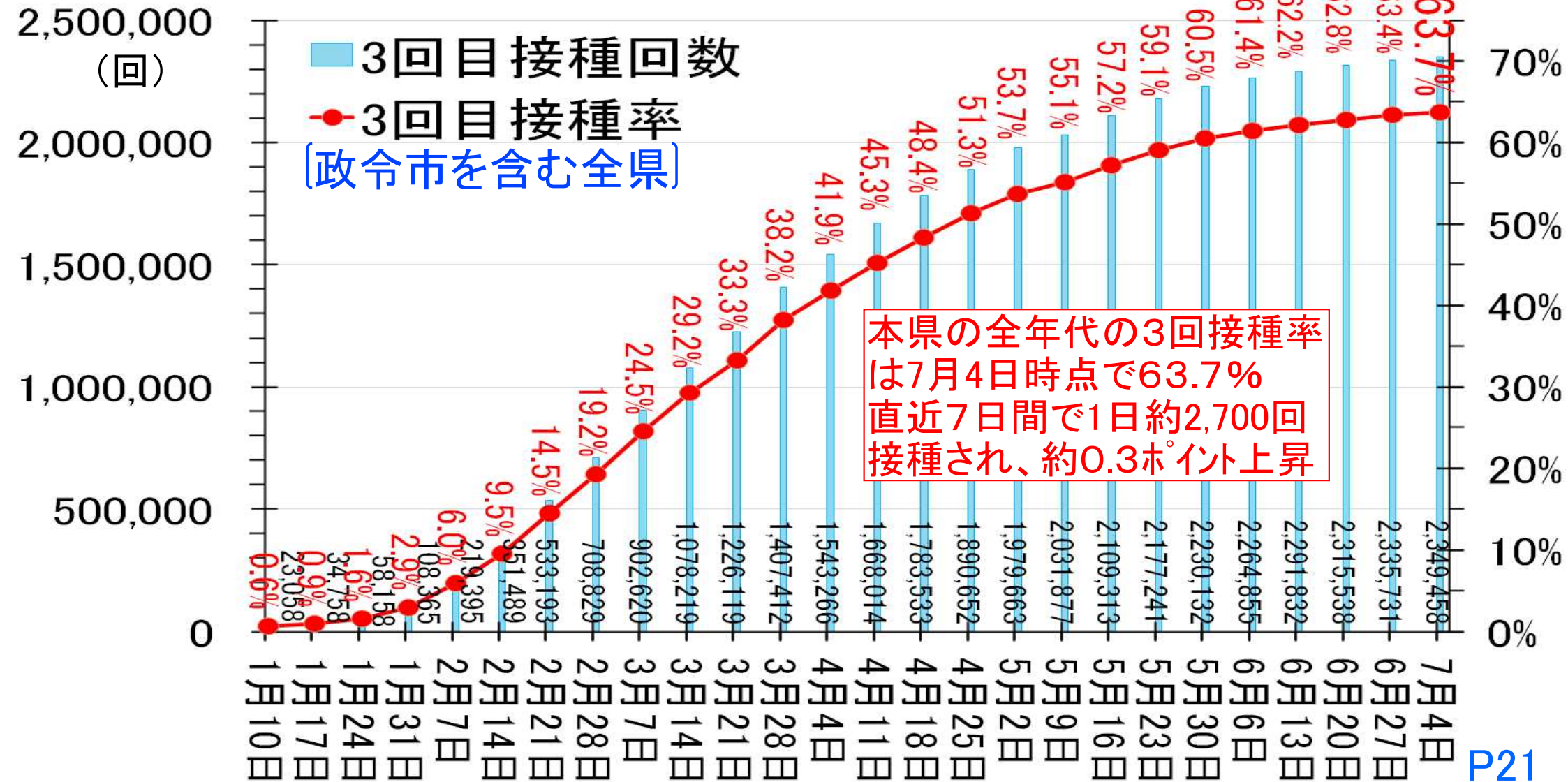
検査人数

# 静岡県 コロナワクチン3回目接種状況 高齢者(1/10~7/4)

(対象者約109.7万人)



# 静岡県 コロナワクチン3回目接種状況 全年代(1/10~7/4)



# 静岡県 コロナワクチン5～11歳接種状況 (3/7～7/4)

(対象者約21.7万人)

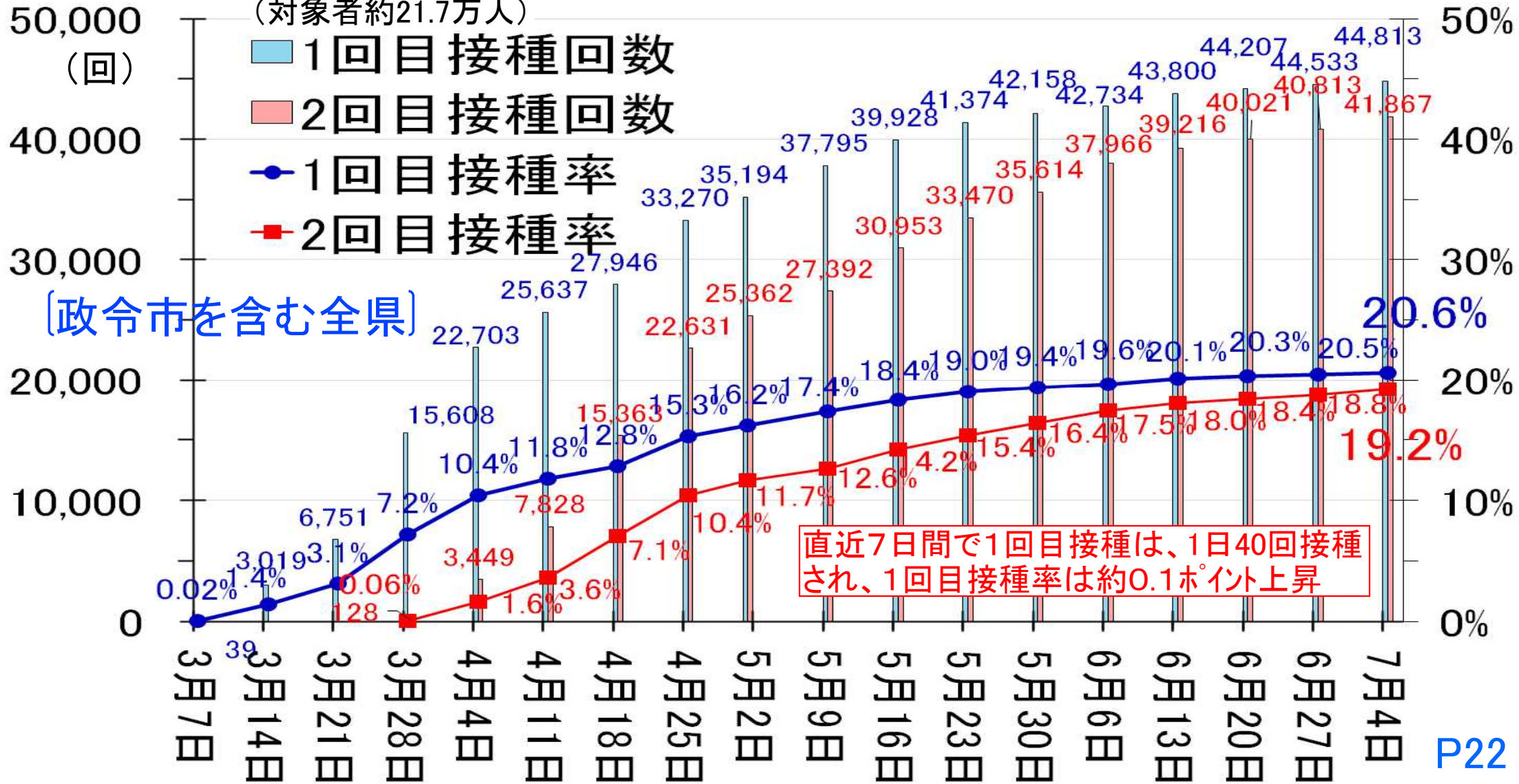
1回目接種回数

2回目接種回数

1回目接種率

2回目接種率

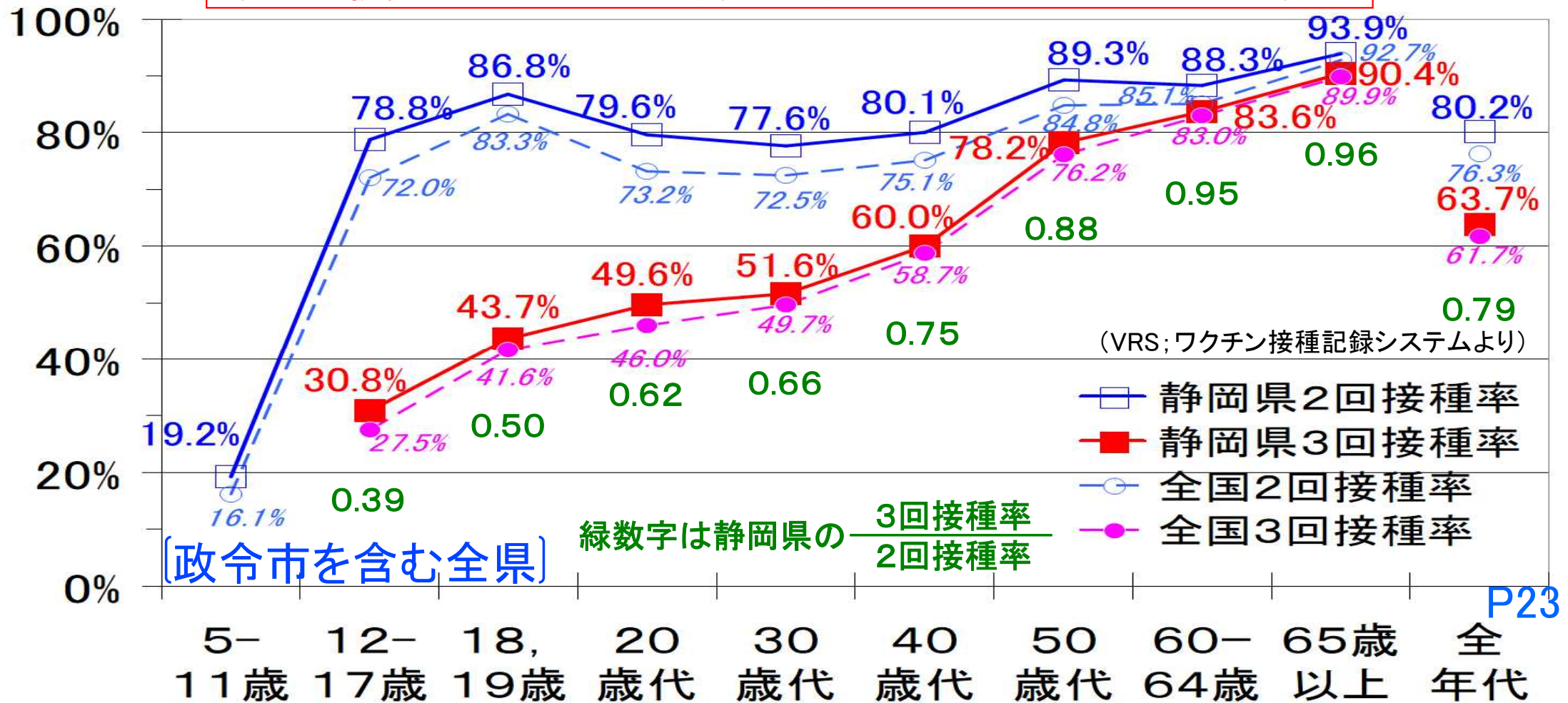
(政令市を含む全県)



直近7日間で1回目接種は、1日40回接種され、1回目接種率は約0.1ポイント上昇

# 県と国 コロナワクチン年代別接種率（7/4時点）

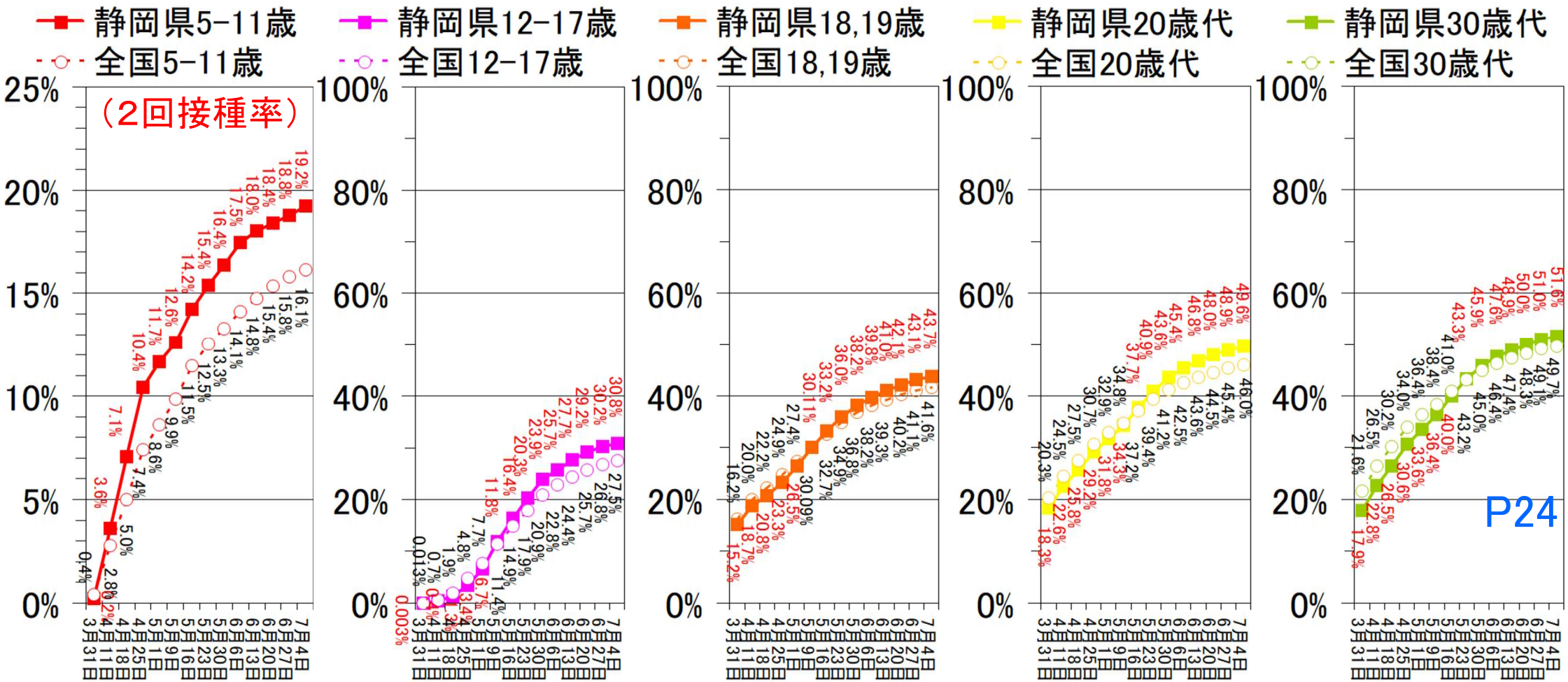
- ・県の3回接種率は、50歳以上は78%以上、40歳代60%、30歳代51%となる。18～20歳台も40%台となり、12～17歳も30%を超えた。
- ・県の3回接種率を全国と比べると、各年代すべてで全国より0.5～3.6ポイント高い。



# 県と国 コロナワクチン年代別3回接種率 (3/31-7/4)

- ・県の5～11歳の2回接種率は、全国平均より3ポイント高いが、直近1週間での増加は0.4ポイントにとどまる。
- ・県の12歳～30歳代までの3回接種率は、全国平均より1.9～3.6ポイント高く、直近1週間で0.6～0.7ポイント増加している。

【政令市を含む全県】

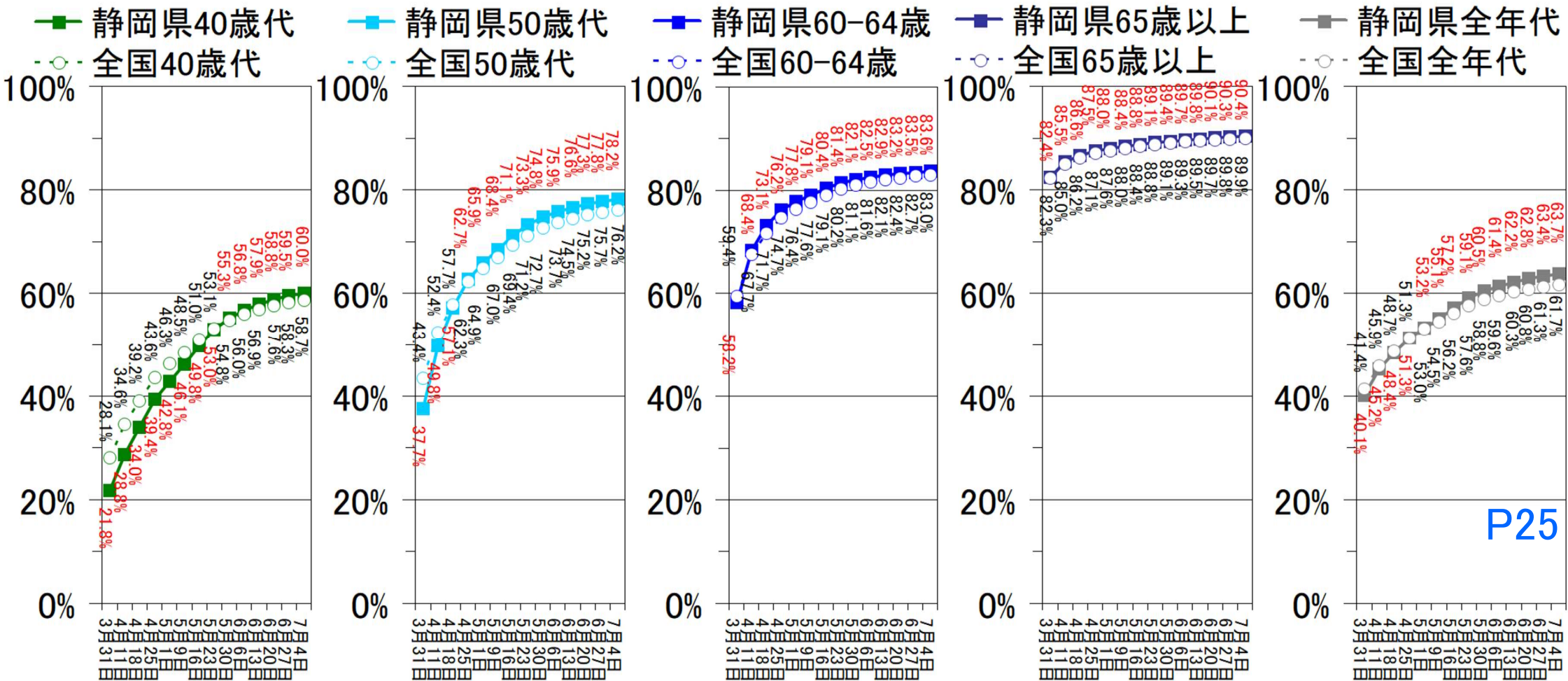




# 県と国 コロナワクチン年代別3回接種率 (3/31-7/4)

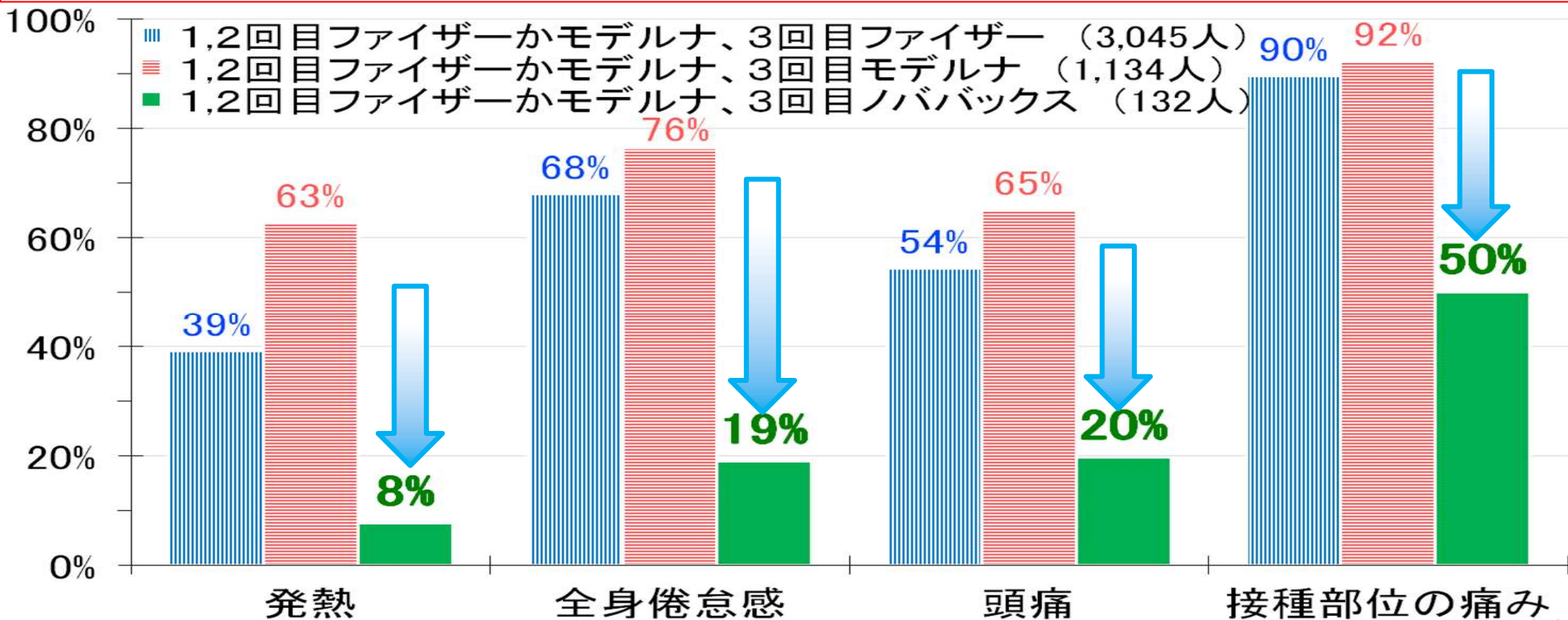
- ・県の40歳以上の3回接種率は全国より0.5~2.0ポイント高く、全年代では2.0ポイント高い。
- ・県の40歳以上の接種率は直近1週間で0.1~0.5ポイントの増加にとどまり、全年代の増加も0.3ポイントと鈍化している。

【政令市を含む全県】



# ノババックス ワクチン3回目接種後の副反応頻度(7/7時点)

- ファイザーやモデルナワクチンの2回接種後、静岡県の大規模接種会場で3回目にノババックスワクチンを接種した方へ副反応の状況を調査させていただき、132人に回答をいただいた時点(7/7朝)で結果をまとめた。
- 132人のうち2回目後の副反応に比べ、3回目のノババックス後の副反応の方がつらかった人は4人のみだった。
- ファイザーやモデルナの3回目接種後の副反応調査結果と比べて、ノババックス3回目は副反応が少なかった。

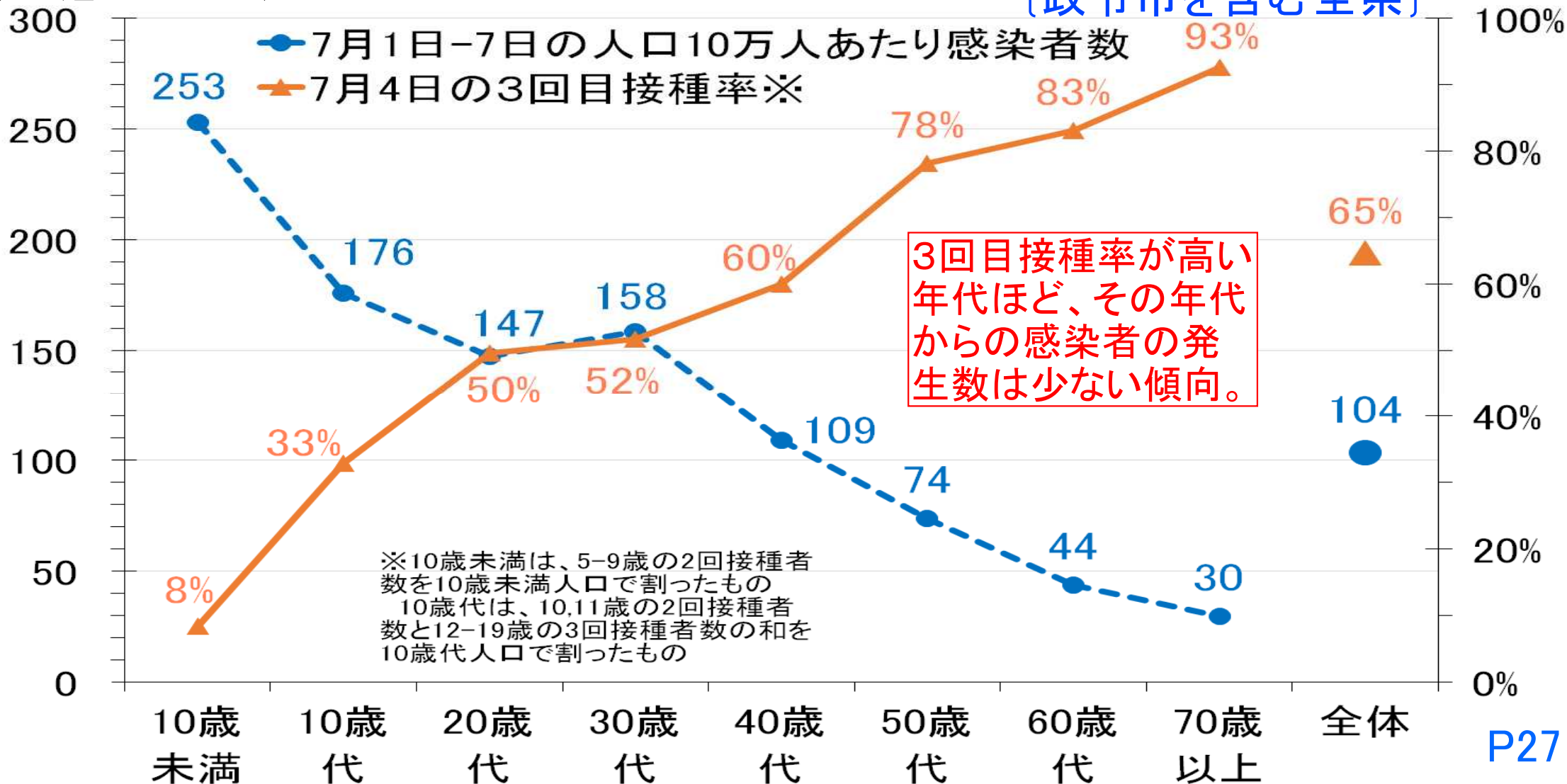


(順天堂大学コロナワクチン研究事務局のデータ 及び 静岡県新型コロナ対策推進課調べ より)

# 静岡県 年代別 3回目接種率と人口10万人あたり1週間感染者数 (7/1~7)

(人/週/人口10万)

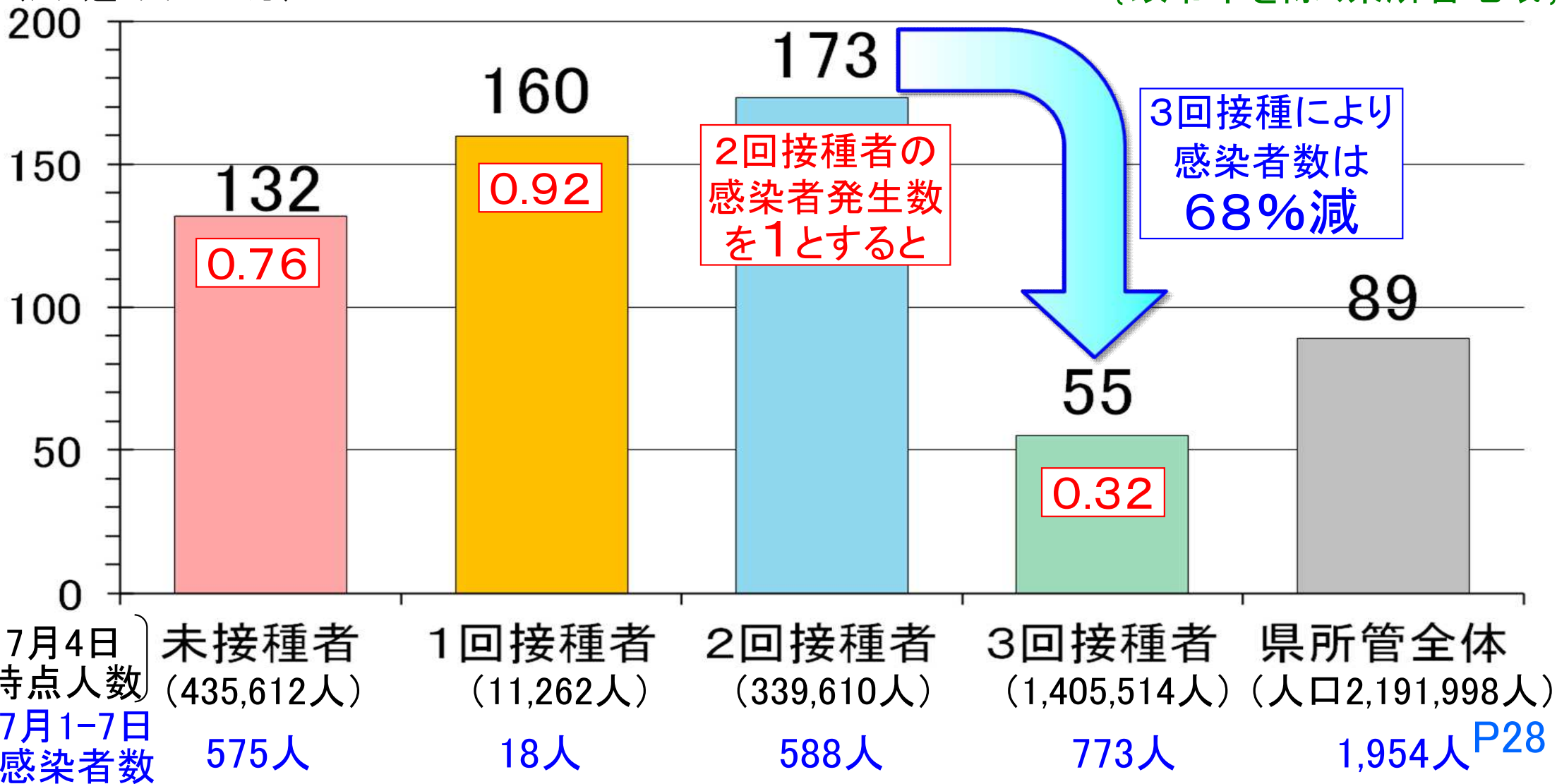
〔政令市を含む全県〕



# ワクチン接種回数別 人口10万人あたり1週間感染者発生状況 (7/1~7)

(人/週/人口10万)

[政令市を除く県所管地域]

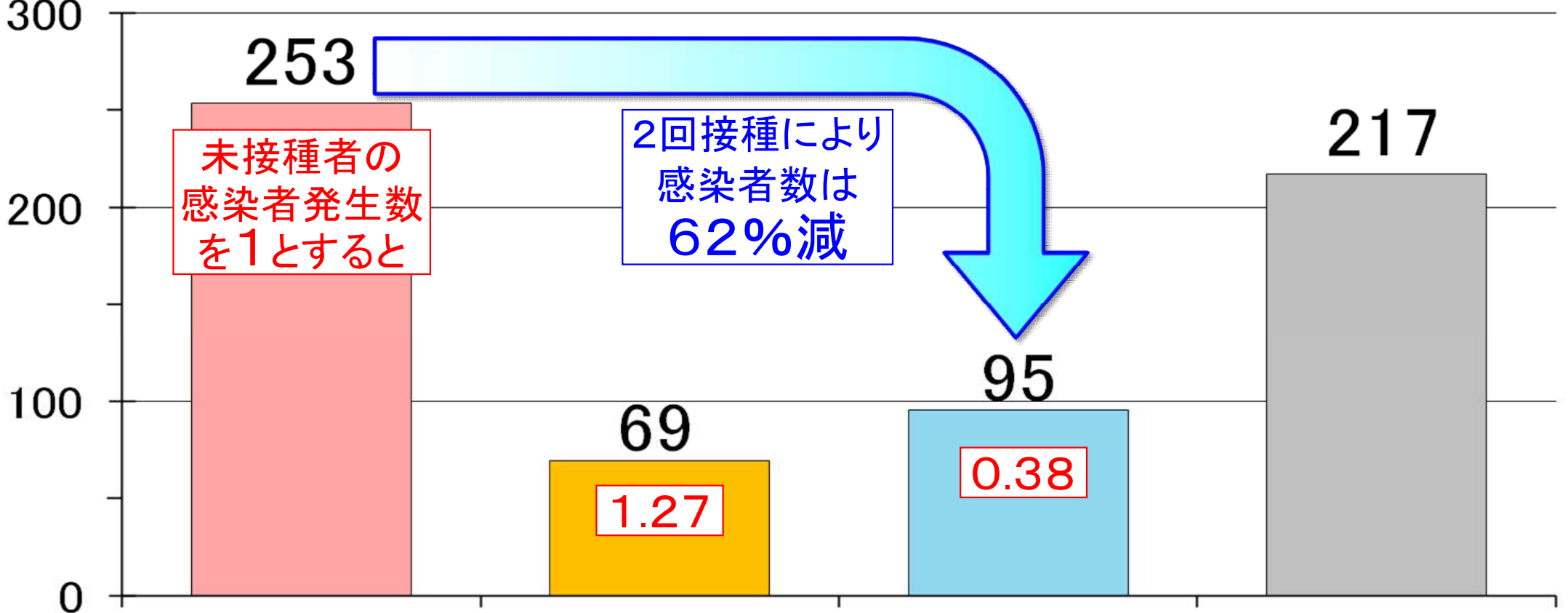


7月4日  
時点人数  
7月1-7日  
感染者数

# 小児ワクチン接種回数別 人口10万人あたり1週間感染者発生状況 (7/1~7)

(人/週/人口10万)

[政令市を除く県所管地域]



未接種者の感染者発生数を1とすると

2回接種により感染者数は62%減

6月19日  
時点人数  
7月1-7日  
感染者数

未接種者  
(99,905人)  
253人

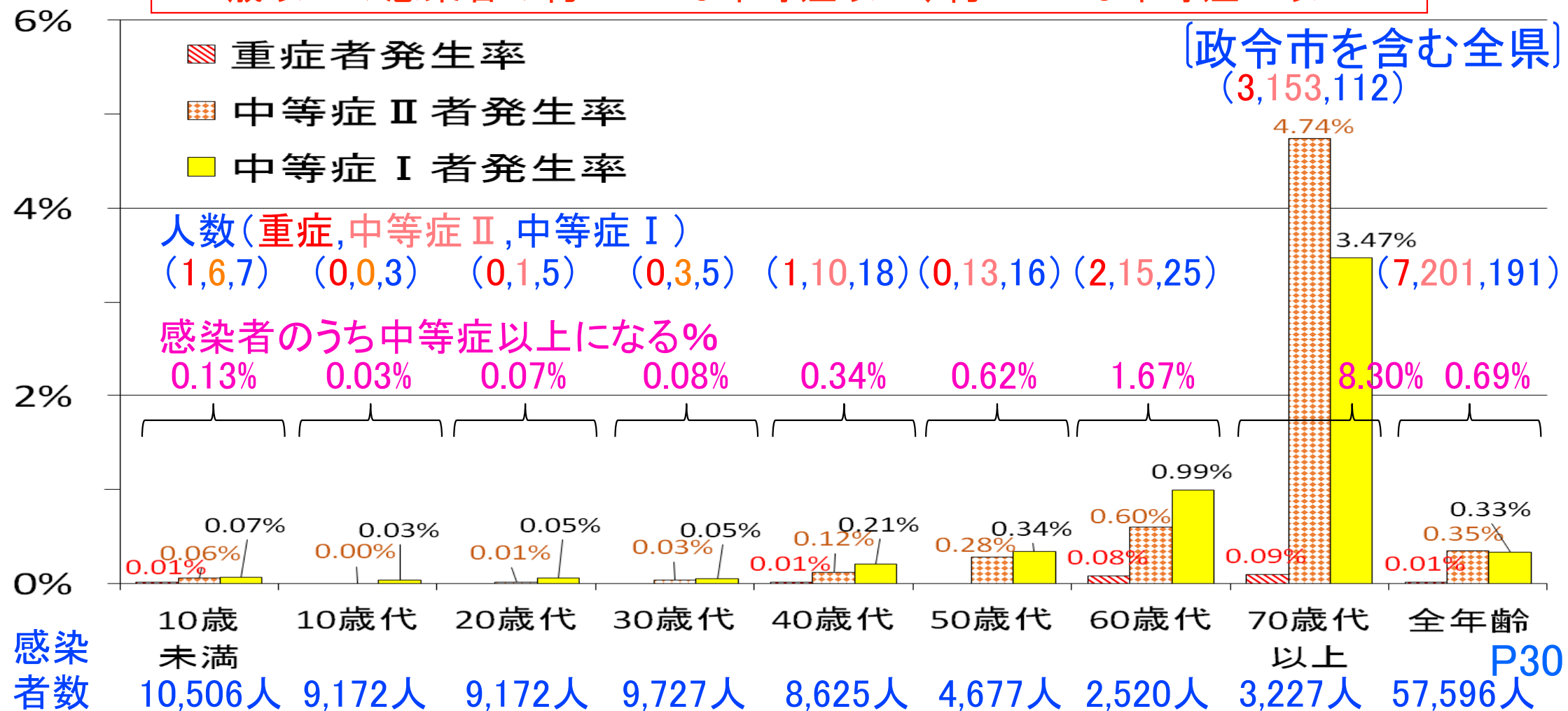
1回接種者  
(2,885人)  
2人

2回接種者  
(26,241人)  
25人

県所管全体  
(5-11歳人口129,031人)  
280人

# 静岡県 年代別感染者の中等症以上発生率等(4/1~6/30)

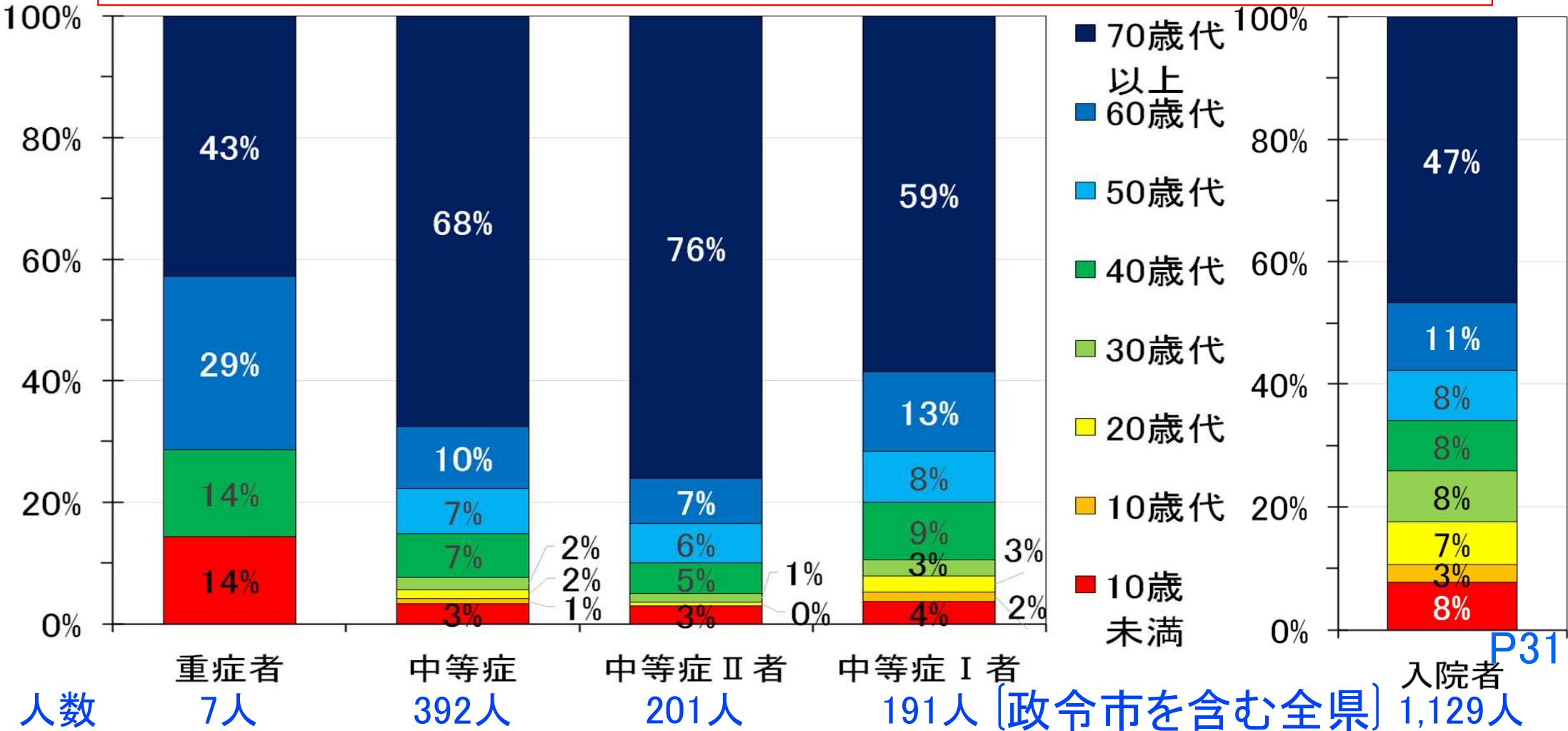
- 全体での中等症以上の発生率は約0.7%、中等症Ⅱ約0.4%、重症0.01%
- 70歳以上の感染者の約8.3%は中等症以上、約4.7%は中等症Ⅱ以上



P30

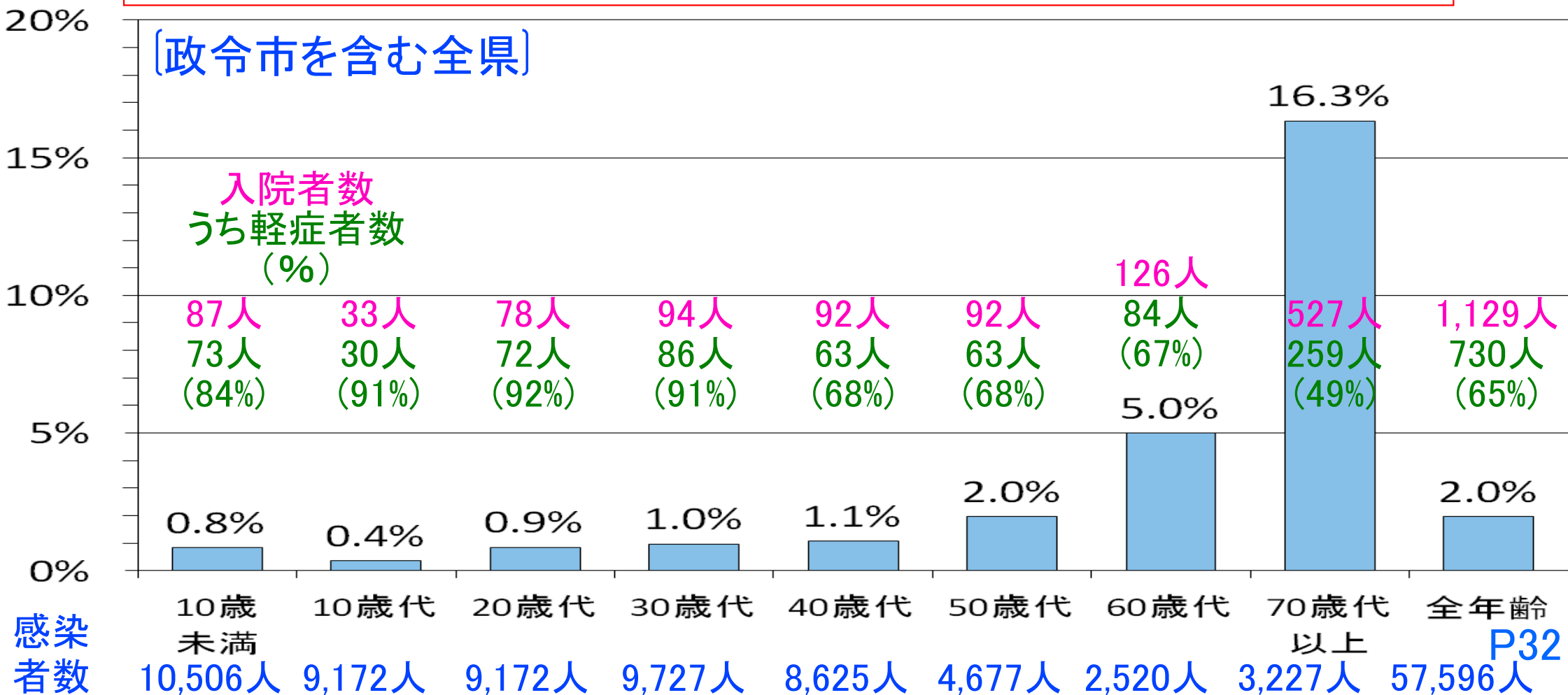
# 静岡県 重症度別感染者の年代分布(4/1~6/30)

- 重症者は7人のみで、70歳代以上3人と60歳代2人、40歳代・10歳未満各1人
- 中等症者の約70%、中等症Ⅱの約80%、入院者の約50%が70歳以上



# 静岡県 年代別感染者の入院率(4/1～6/30)

- 全年齢の感染者での入院率は2.0%で、そのうち約3分の2は軽症での入院。
- 年代別の入院率では、10歳代が最も低く0.4%、70歳以上が最も高く16.3%。

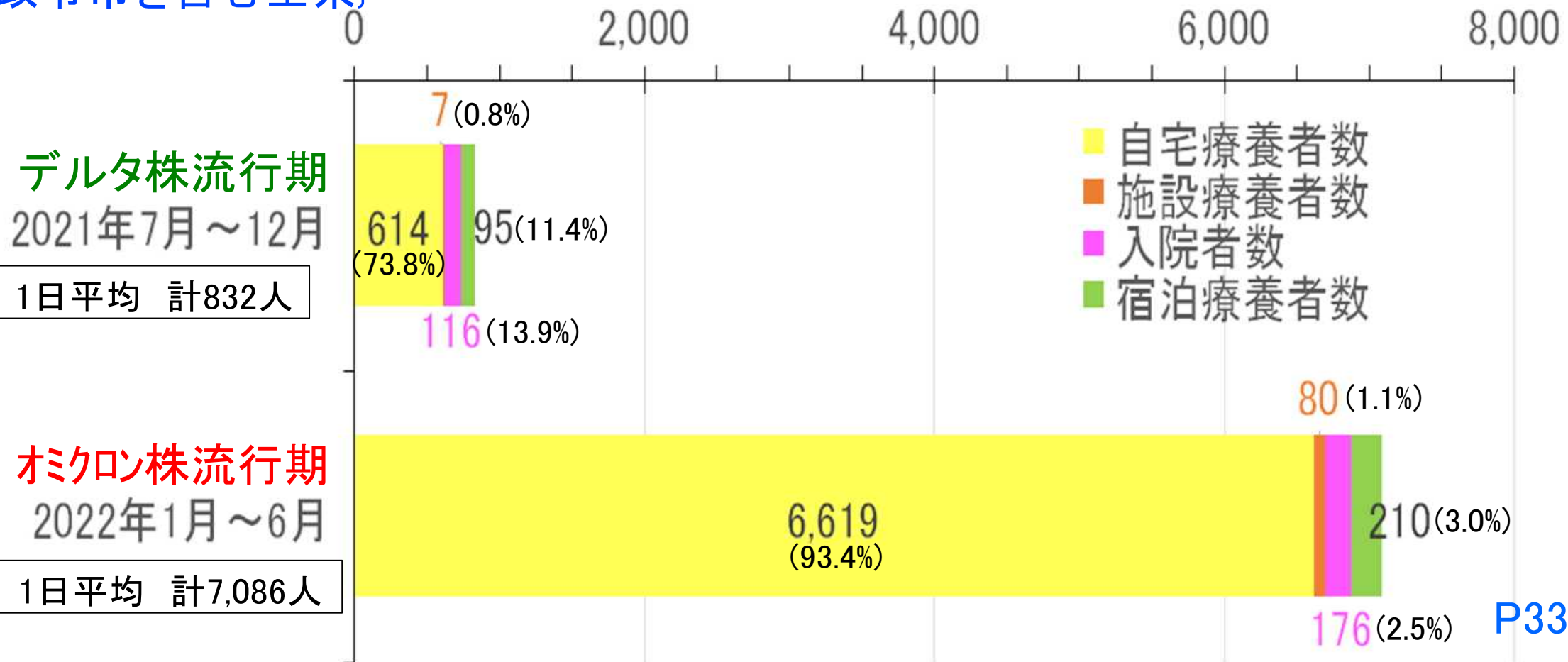




# 静岡県 デルタ株とオミクロン株の療養状況別人数(1日平均)

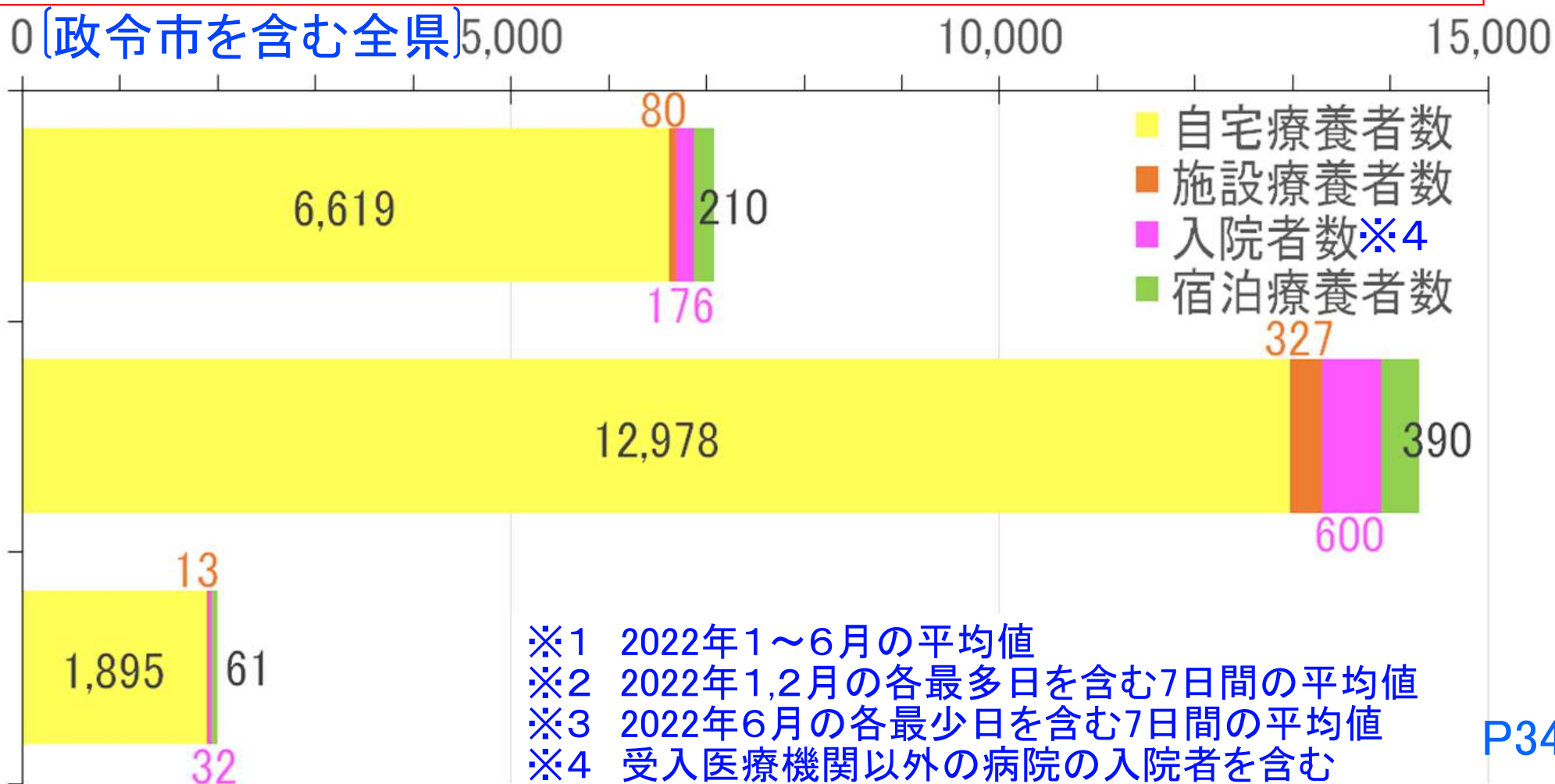
- デルタ株主体の昨年後半に比べオミクロン株主体の今年前半は、1日平均療養者数は8.5倍。
- オミクロン株は、感染力、弱毒化、ワクチン普及により、デルタ株とは全く別の感染症となった。

[政令市を含む全県]

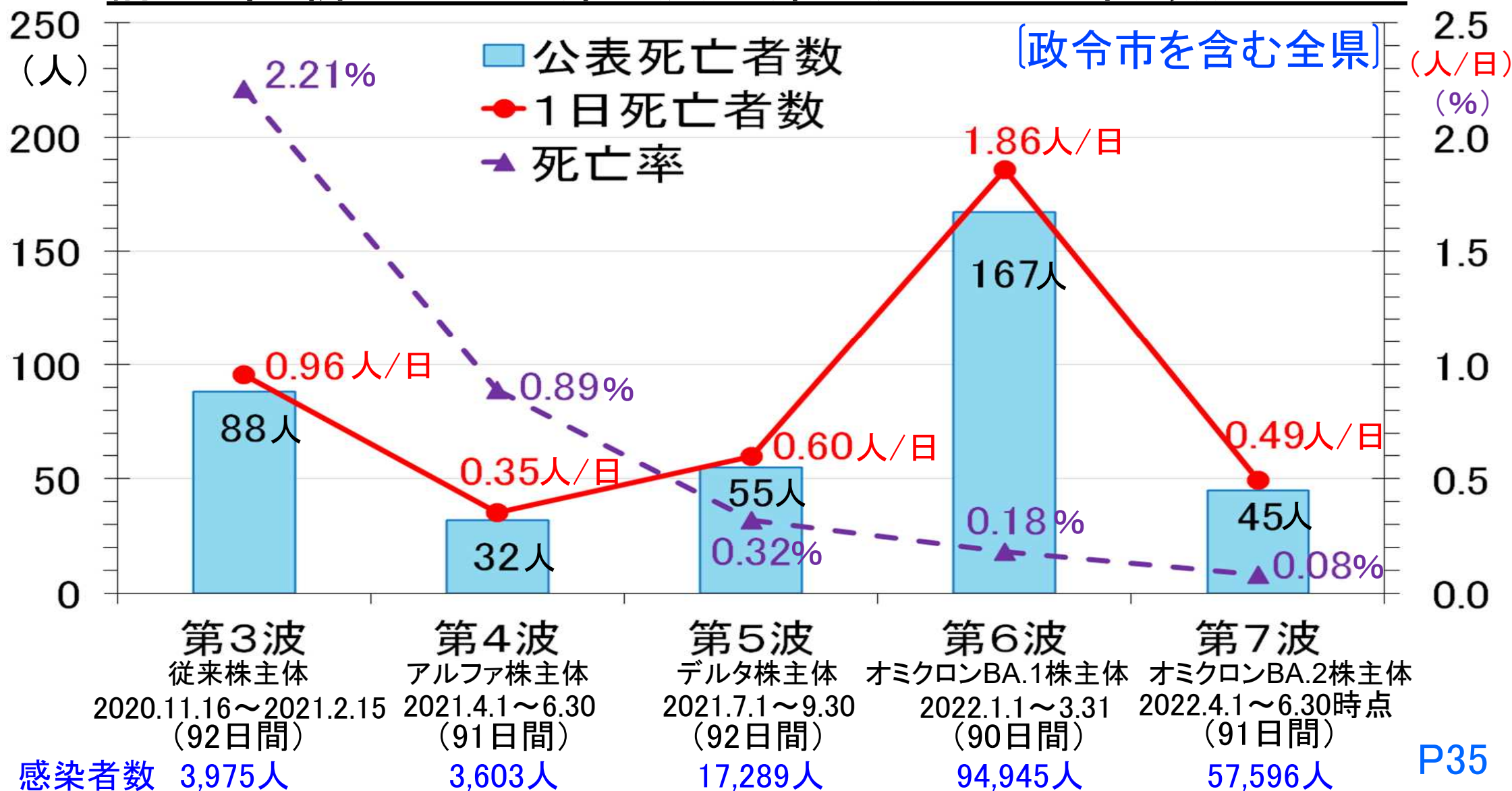


# 静岡県 オミクロン株の療養状況別人数(1日平均)

今年1～6月のオミクロン株流行期間中において、自宅療養者は2,000～13,000人、施設療養者は10～350人、入院患者は30～600人、宿泊療養者は60～400人で推移。

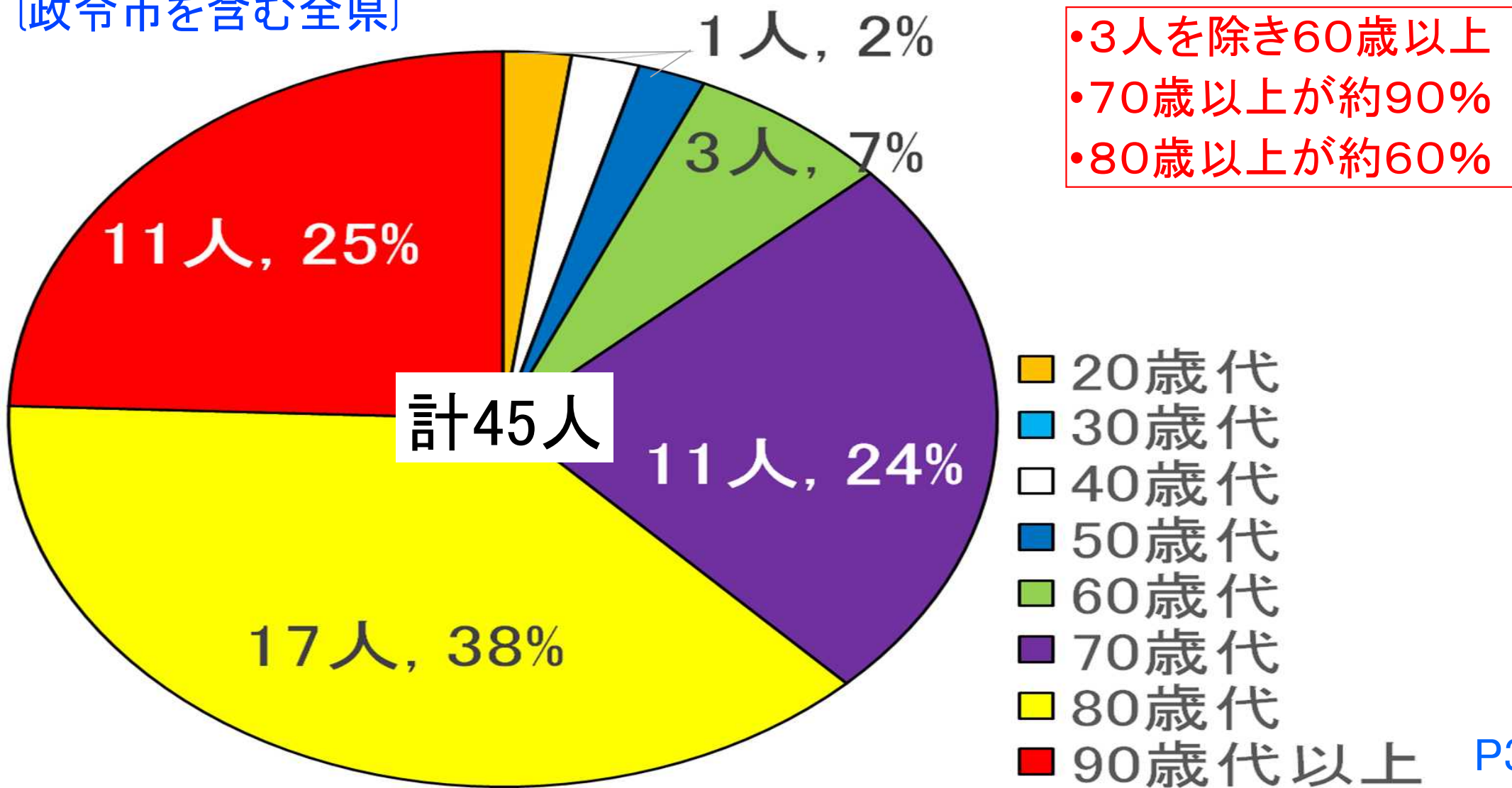


# 静岡県 新型コロナ第3波～第7波の死亡者数(～6/30)



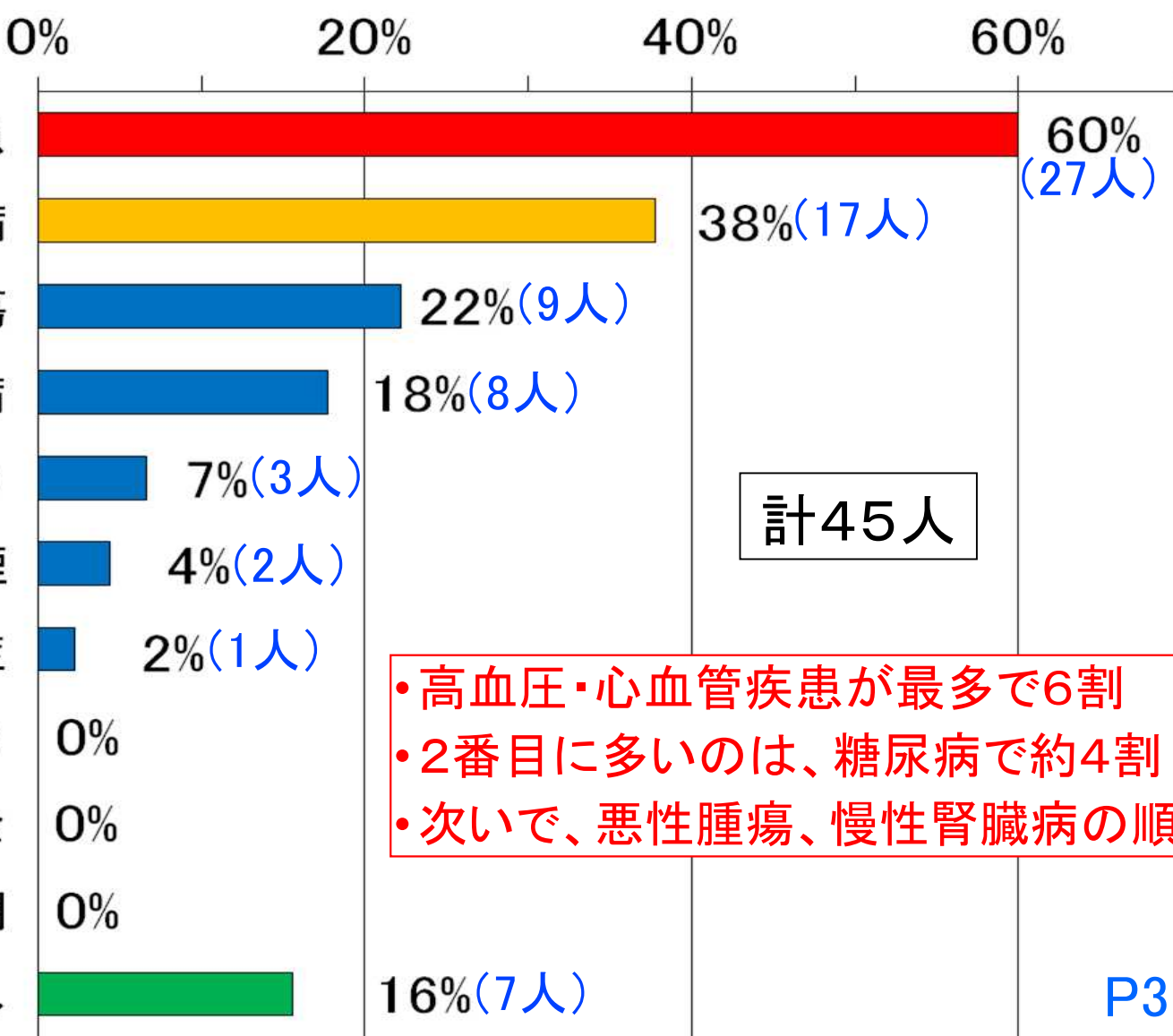
# 静岡県 新型コロナ第7波の死亡者の年齢分布(4/1~6/30)

[政令市を含む全県]



# 静岡県 新型コロナ第7波の死亡者の基礎疾患(4/1~6/30)

[政令市を含む全県、複数回答]



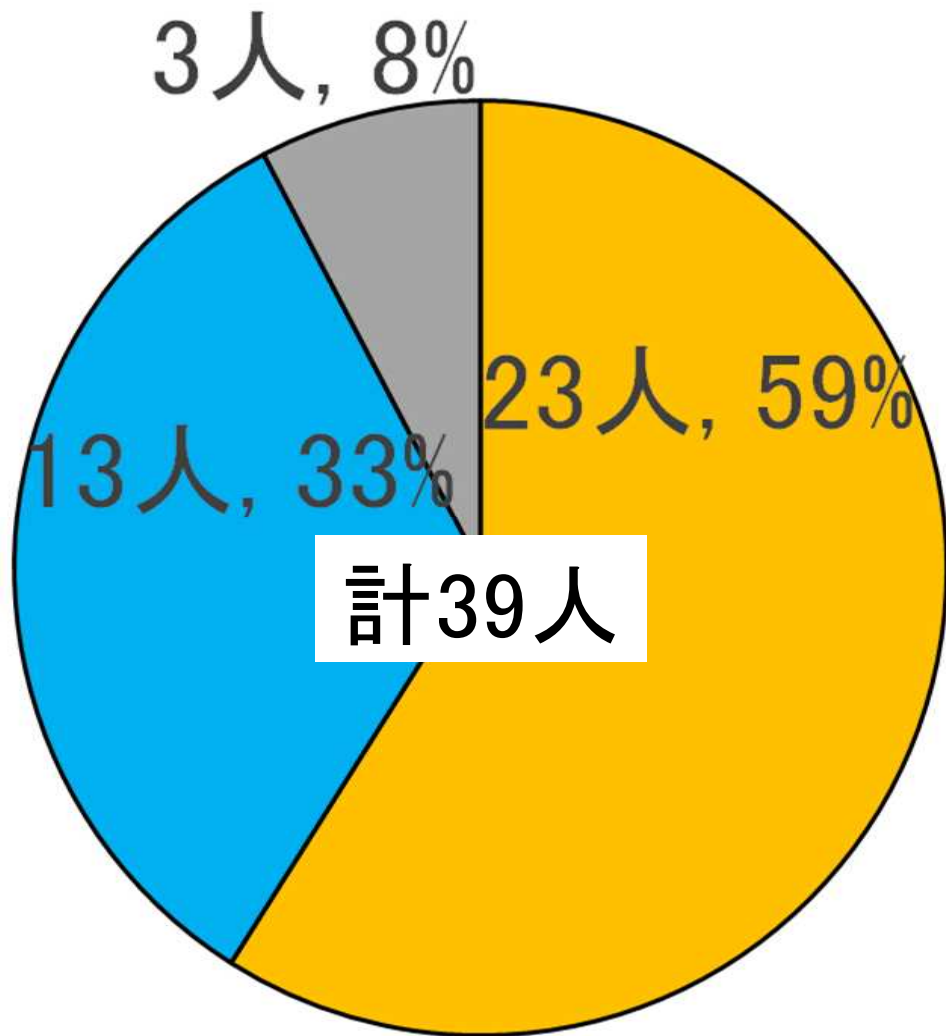
重症化リスクのある基礎疾患なし

16%(7人)

P37

# 静岡県 新型コロナ第7波の死亡者の死因(4/1~6/30)

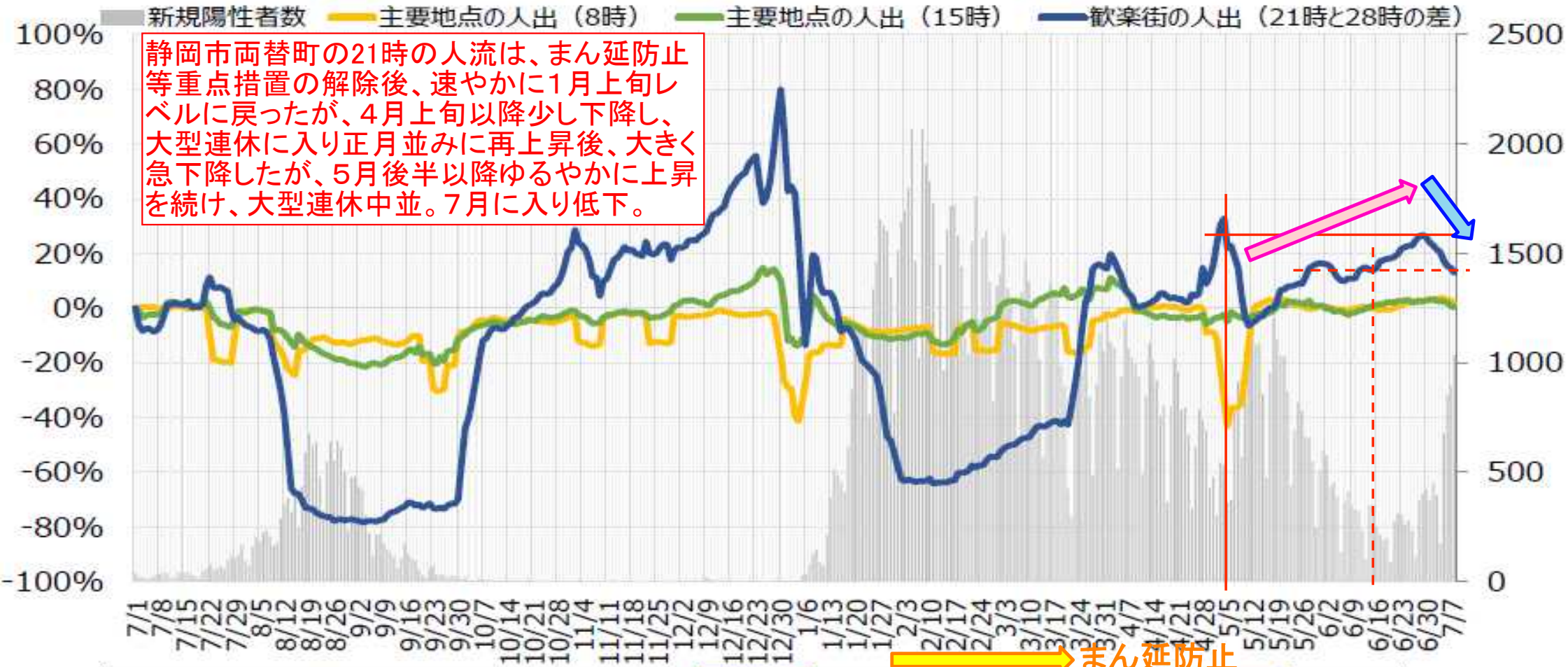
〔県が把握した方、政令市を含む〕



- 死亡者の約6割は、新型コロナウイルス感染症が主たる死因。
- 死亡者の少なくとも3分の1は、新型コロナウイルス感染症が主たる死因ではない。

- コロナ感染症が主たる要因
- コロナ感染症は主たる要因でない
- わからない

# 静岡市両替町の人流の状況（7/10時点）



|                       |    |    |     |    |     |     |
|-----------------------|----|----|-----|----|-----|-----|
| 直近の対7月1日比増減率（ 7月10日 ） | 8時 | 1% | 15時 | 1% | 21時 | 15% |
|-----------------------|----|----|-----|----|-----|-----|

※グラフは、7月1日時点の人流の後方7日間移動平均（6月25日～7月1日の平均値）に対する、各日の後方7日間移動平均の増減率

（主要地点：静岡駅周辺、歓楽街：静岡両替町）

モバイル空間統計® データ提供元：(株)NTTドコモ、(株)ドコモ・インサイトマーケティング ※「モバイル空間統計®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

## 全国季節性インフルエンザと静岡県新型コロナ株ごとの比較(6/30時点)

| 指標(率)             | 季節性※ <sup>1</sup><br>インフルエンザ    | 新型コロナ<br>オミクロン株※ <sup>2</sup> | 新型コロナ<br>デルタ株※ <sup>3</sup> | 新型コロナ<br>アルファ株※ <sup>4</sup> | 新型コロナ<br>従来株※ <sup>5</sup> |
|-------------------|---------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|
| 死亡                | 0.09%<br>(27,679人/31,665,539人)  | 0.08%<br>(45人/57,596人)        | 0.32%<br>(55人/17,289人)      | 0.89%<br>(32人/3,603人)        | 2.21%<br>(88人/3,975人)      |
| 重症<br>(ICU/人工呼吸器) | 0.08%<br>(24,805人/31,665,539人)  | 0.01%<br>(7人/57,596人)         | 0.63%<br>(73人/11,624人)      | 1.45%<br>(28人/1,930人)        | 1.47%<br>(28人/1,909人)      |
| 中等症<br>(酸素投与以上)   | 0.51%<br>(162,471人/31,665,539人) | 0.35%<br>(201人/57,596人)       | No Data                     | No Data                      | No Data                    |
| 入院                | 1.62%<br>(51,216人/31,665,539人)  | 1.96%<br>(1,129人/57,596人)     | 13.80%<br>(2,386人/17,289人)  | 25.67%<br>(925人/3,603人)      | 35.25%<br>(1,401人/3,975人)  |

※1;「2022年3月2日第74回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード 資料3-10」より 観察期間は、2017年9月～2020年8月

※2;静岡県健康福祉部感染症対策局調べ 観察期間は、全ての指標で2022年4月1日～6月30日

※3;静岡県健康福祉部感染症対策局調べ 観察期間は、死亡と入院が2021年7月1日～9月30日、重症が2021年8月

※4;静岡県健康福祉部感染症対策局調べ 観察期間は、死亡と入院が2021年4月1日～6月30日、重症が2021年5月

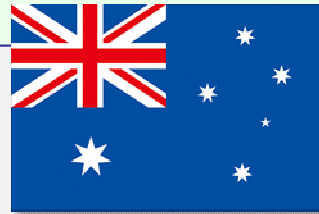
※5;静岡県健康福祉部医療局疾病対策課調べ 観察期間は、死亡と入院が2020年11月16日～2021年2月15日、重症が2021年1月



# 南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(7/3時点)

《”Australian Influenza Surveillance Report No.07, 2022”のKey Messages》

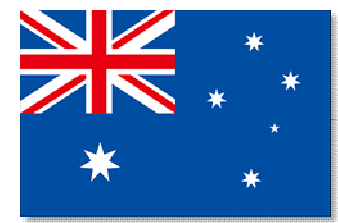
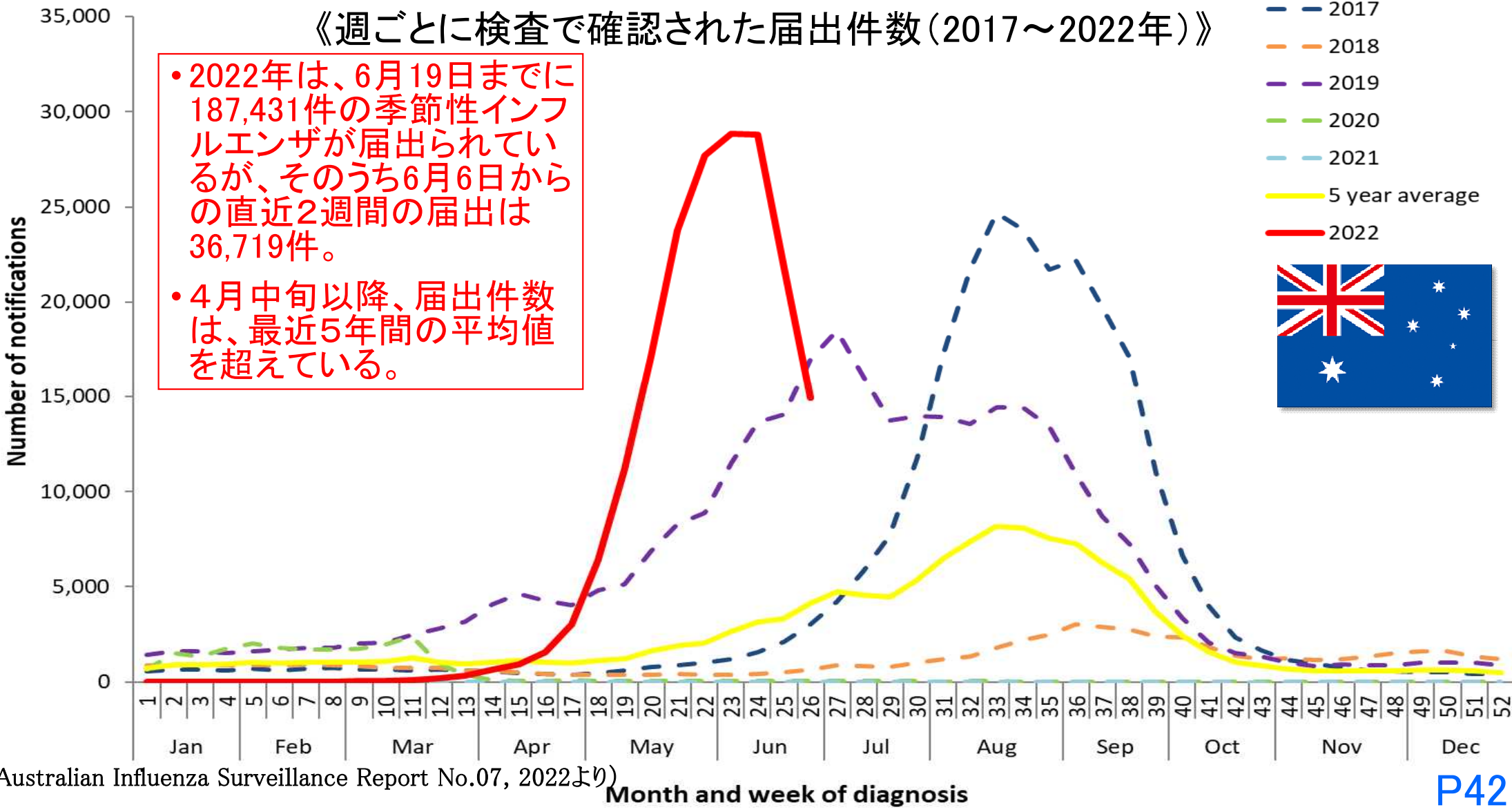
|              |  |
|--------------|--|
| 活動性          | <ul style="list-style-type: none"><li>• 今年のコミュニティでの<u>インフルエンザ様疾患 (ILI) の活動は、2022年5月と6月にピークに達した。</u></li><li>• 2022年のこれまでに、オーストラリア届出疾患サーベイランスシステム (NNDSS) に<u>187,431件が届出されており、そのうち36,719件の届出は6月20日から7月3日の2週間に診断された。</u></li><li>• 2022年4月中旬から、オーストラリアで報告された検査で確認された<u>インフルエンザの週ごとの届出数は、5年間の平均を超えている。</u></li></ul> |
| 重症度          | <ul style="list-style-type: none"><li>• 今年初め以来、検査で確認されたインフルエンザ187,431件の届出のうち、113件のインフルエンザ関連の死亡が届出された。</li><li>• 2022年4月の季節的サーベイランスの開始以来、インフルエンザによる入院は視病院全体で1,323件報告されており、そのうち6.5%がICUに直接入院した。</li></ul>  |
| 影響           | <ul style="list-style-type: none"><li>• 現時点では、2022年<u>インフルエンザシーズンが社会に与える潜在的な影響の兆候はない。</u></li></ul>  |
| リスク集団        | <ul style="list-style-type: none"><li>• 2022年の現在までは、<u>5~9歳、5歳未満そして10~19歳が最も高い届出率</u>を示している。</li></ul>   |
| ウイルス学        | <ul style="list-style-type: none"><li>• 現在までに、NNDSSに報告された検査で確認されたインフルエンザの届出の<u>82.8%がインフルエンザA</u>であり、そのうち94.6%がインフルエンザA(サブタイプ検査なし)、0.8%がインフルエンザA(H1N1)、4.6%がインフルエンザA(H3N2)。インフルエンザBは届出の<u>0.1%</u>を占め、0.1%未満はAとBの重複感染であり、<u>17.2%は型が分類されていない。</u></li></ul>  |
| ワクチンとの一致と有効性 | <ul style="list-style-type: none"><li>• これまでにWHO協力センターに照会された1,195検体のうち、<u>インフルエンザA(H1N1)の99.0%、インフルエンザA(H3N2)の96.0%、およびインフルエンザB/ビクトリアは、対応するワクチン成分と抗原的に類似の特徴があった。</u></li><li>• 今シーズンのワクチンの適合性と有効性を評価するには時期尚早である。</li></ul>   |



# 南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(7/3時点)

《週ごとに検査で確認された届出件数(2017~2022年)》

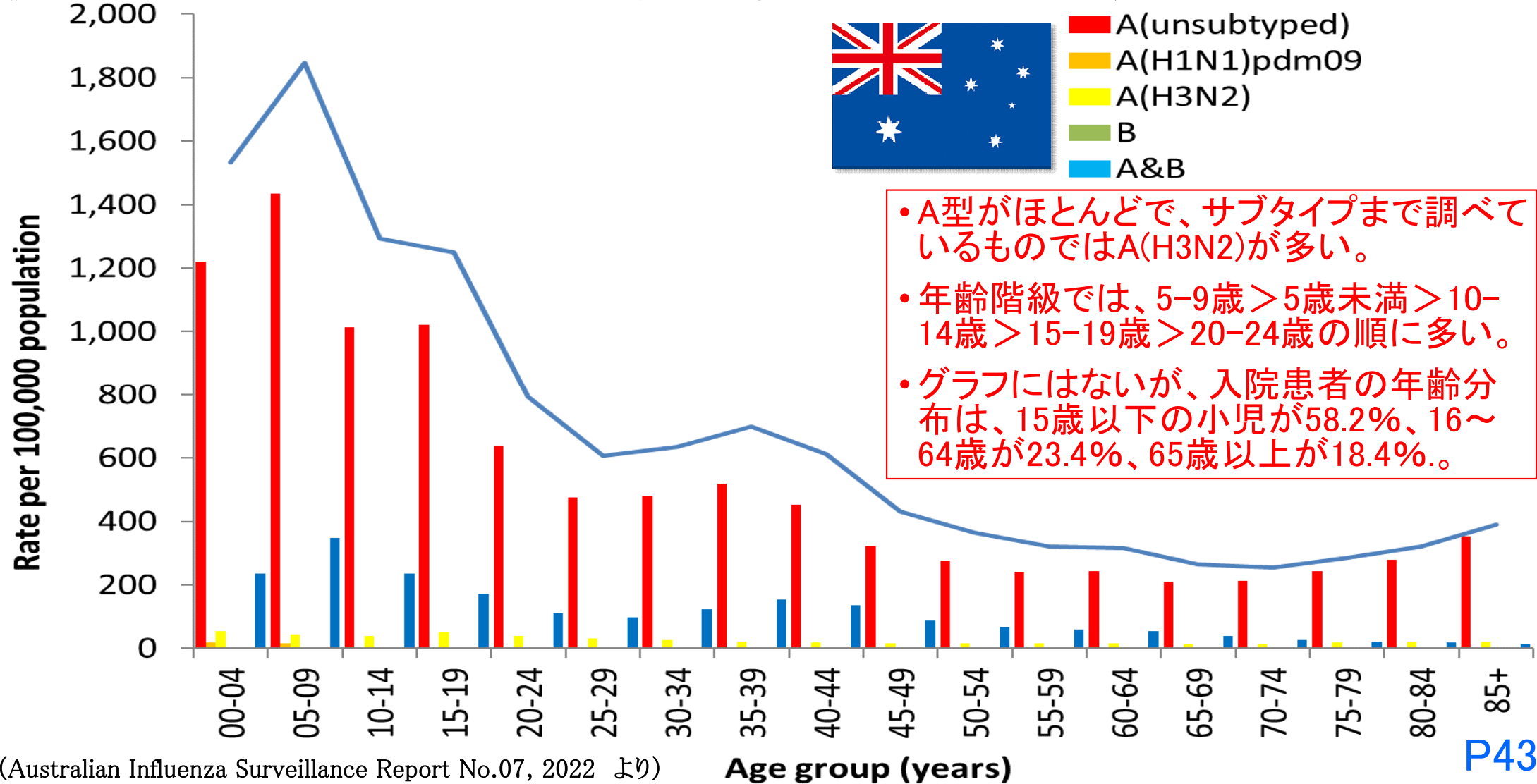
- 2022年は、6月19日までに187,431件の季節性インフルエンザが届出られているが、そのうち6月6日からの直近2週間の届出は36,719件。
- 4月中旬以降、届出件数は、最近5年間の平均値を超えている。



(Australian Influenza Surveillance Report No.07, 2022より)

# 南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(7/3時点)

《年齢階級別・サブタイプ別 人口10万人あたりの検査で確認された届出数(2022年1月1日～7月3日)》

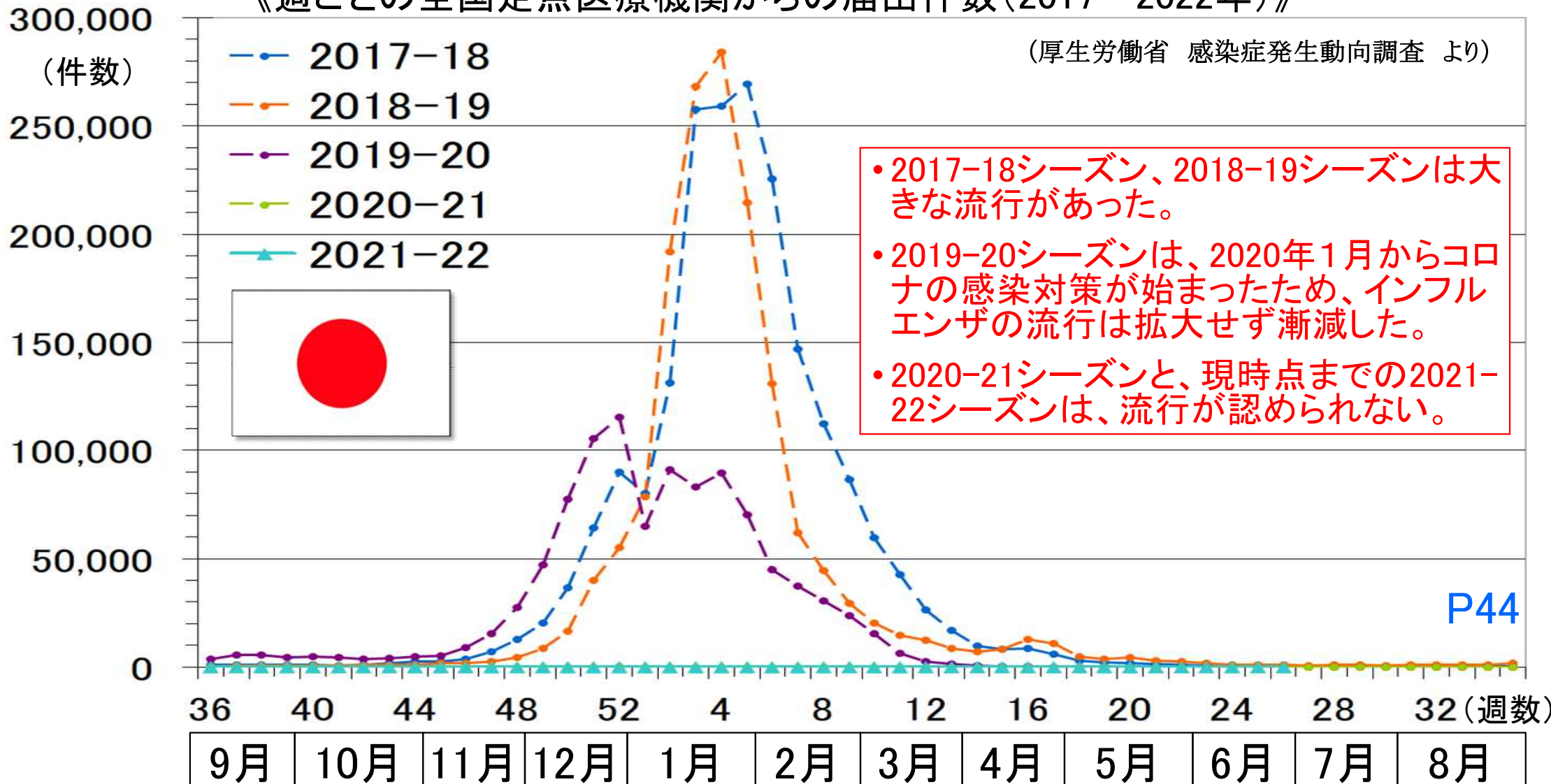


(Australian Influenza Surveillance Report No.07, 2022 より)

# 日本の季節性インフルエンザの流行状況(7/3 第26週時点)

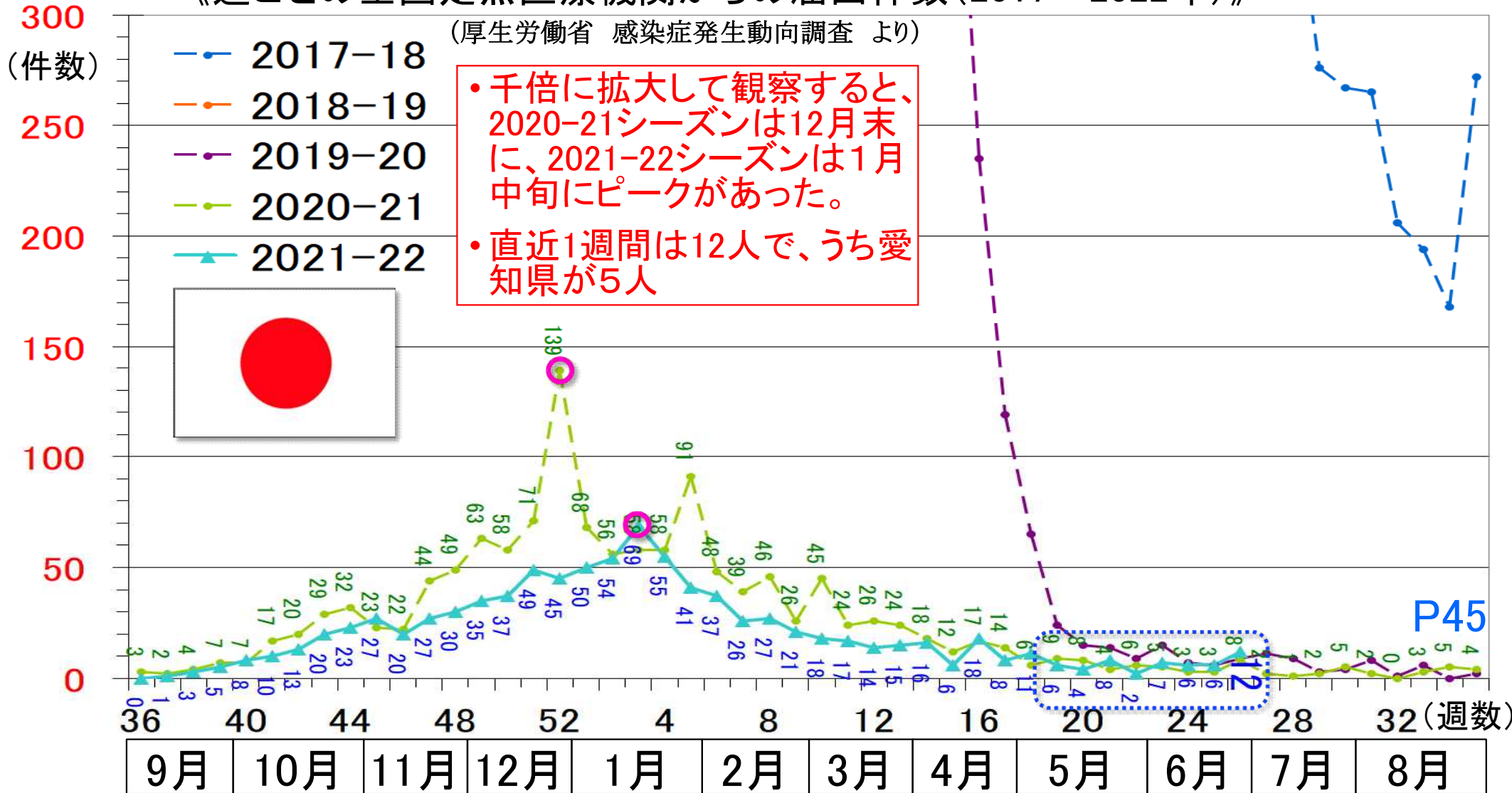
《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》

(厚生労働省 感染症発生動向調査 より)



# 日本の季節性インフルエンザの流行状況(6/26時点)【1,000倍拡大】

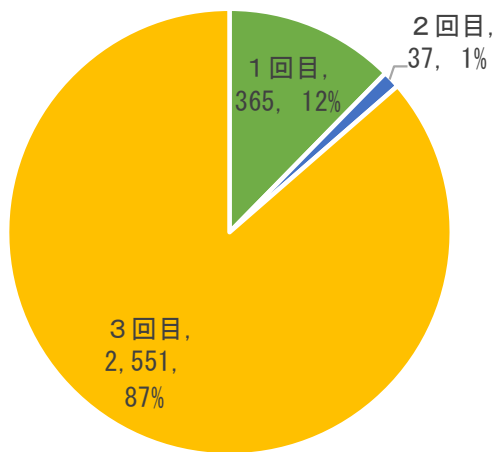
《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》



# ノババックスワクチン接種状況

|          |   |
|----------|---|
| 本県の活用方針  | <ul style="list-style-type: none"> <li>副反応を理由に接種を控える若年層向けの3回目接種に活用</li> <li>少なくとも1か所以上のノババックス接種会場を設置するよう各市町へ要請</li> </ul>   |
| 取組及び接種状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>本県では、全国5位となる2,953人が接種（全国では3.9万人が接種）※7月5日時点</li> <li>本県大規模接種会場（沼津市、静岡市、袋井市）でも、8月末まで接種実施</li> <li>知事による接種の呼びかけや、副反応発生状況（本県調査）の周知を継続</li> </ul> |

静岡県ノババックス接種状況  
(接種者数)



ノババックスワクチン接種回数 全国順位 (7月5日時点)

| 全国順位     | 都道府県       | 計            | 接種回数       |           |              |
|----------|------------|--------------|------------|-----------|--------------|
|          |            |              | 1回目        | 2回目       | 3回目          |
| 1        | 東京都        | 8,043        | 1,795      | 981       | 5,267        |
| 2        | 大阪府        | 6,729        | 618        | 285       | 5,826        |
| 3        | 神奈川県       | 4,298        | 863        | 531       | 2,904        |
| 4        | 埼玉県        | 3,667        | 682        | 348       | 2,637        |
| <b>5</b> | <b>静岡県</b> | <b>2,953</b> | <b>365</b> | <b>37</b> | <b>2,551</b> |
| 6        | 福井県        | 1,365        | 101        | 20        | 1,244        |
| 7        | 千葉県        | 1,171        | 347        | 69        | 755          |
| 8        | 兵庫県        | 1,154        | 332        | 112       | 710          |
| 9        | 長野県        | 774          | 254        | 37        | 483          |
| 10       | 茨城県        | 665          | 263        | 141       | 261          |
| 全国計      |            | 39,192       | 7,820      | 3,319     | 28,053       |

静岡県計 2,953回  
うち  
県会場 733回  
市町会場 2,220回